第20回 環境コミュニケーション大賞 表 彰 式



日時: 2017年**2**月**22**日(水) **13:30~16:40**

会場: グランドプリンスホテル新高輪(東京都港区高輪 3-13-1)

主催:環境省、一般財団法人地球・人間環境フォーラム

協 賛: 一般社団法人 サステナビリティ情報審査協会

協 カ: 一般財団法人 持続性推進機構、日本公認会計士協会

後 援: 株式会社 東洋経済新報社、一般財団法人 日本経済団体連合会、日本商工会議所、株式会社 日本取引所グループ

第 20 回環境コミュニケーション大賞 表彰式

1.プログラム

○第1部			
・開会挨拶	環境大臣	山本 公一 (予定)	
	環境大臣賞	全部門	
・表彰状授与	各種優秀賞 環境配慮促進法特定事業者賞	環境報告書部門	
	優秀賞	環境活動レポート部門	
		大和ハウス工業株式会社	
• 受賞者代表挨拶		コニカミノルタ株式会社	
		来ハトメ工業株式会社	
・審査委員長挨拶	横浜国立大学大学院国際社会科学研究院教授	八木 裕之	
・講評(環境報告書部門)	環境報告書大賞審査委員 環境報告書部門選考ワーキンググループ座長 環境監査研究会代表幹事 GRI スタンダードピアレビューアー	後藤 敏彦	
	環境報告書部門選考ワーキンググループ副座長 みずほ情報総研㈱シニアコンサルタント	村上 智美	
・講評(環境活動は・ト部門)	環境活動レポート部門選考ワーキンググループ座長 首都大学東京都市教養学部都市政策コース教授	奥 真美	
・受賞ロゴマークの紹介	㈱アイディーネット CEO / デザインプロデューサー	福本 徹	
○第2部			
・表彰状授与	優良賞	環境報告書部門 環境活動レポート部門	
・閉会挨拶	総合環境政策局 局長	奥主 喜美	
1 プログラム		1	
	 ニケーション大賞表彰式 開催にあたり		
	て		
4.受賞一覧		5	
	5.受賞作品講評10		
	6.審査委員45		
7.応募団体一覧48			

2.第20回環境コミュニケーション大賞表彰式 開催にあたり

環境コミュニケーション大賞は、皆様の積極的な環境コミュニケーションや環境経営への取組に支えられ、今年で20回目の節目を迎えることができました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。また、受賞者の皆様におかれましては、この度の受賞、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

さて、近年、環境コミュニケーションや環境経営の重要性は、ますます高まってきています。SDGs やパリ協定の採択は、持続可能な社会づくりや気候変動への取組に向けて、事業者への期待・役割をより明確なものにしました。こうした状況の中で、事業者はより長期的な視野を持ちながら、持続的成長のための重要戦略として環境経営を位置付け、バリューチェーン全体で環境等への取組を事業活動に統合していくことが求められるようになっています。

また、年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)による国連責任投資原則(PRI)への署名や、日本版スチュワードシップ・コード及びコーポレートガバナンス・コードの発表により、事業者は今後ますます環境やサステナビリティに関する取組とその情報開示を進め、投資家との積極的なコミュニケーションをはかることが必要となっています。

環境コミュニケーションや環境経営の重要性は、大企業だけでなく、中堅・中小企業にも広がっています。 SDGs やパリ協定の採択により、環境と経済の距離が一層縮まった中で、長期ビジョンを明確に打ち出し、本業と融合した環境活動をバリューチェーン上の取引先や従業員、地域社会と協働で進め、それを経営者自らが発信する対話力がすべての企業に求められるようになっています。

このような環境下で、受賞者の皆様は、まさにあらたな時代にふさわしい環 境コミュニケーションに取り組まれています。これからも引き続き、更なる質 の向上を目指していただくことをお願い致します。

第20回環境コミュニケーション大賞審査委員長 八木 裕之 (横浜国立大学大学院国際社会科学研究院教授)



3.表彰の実施にあたって

今回の環境コミュニケーション大賞は、2016 年 10 月 4 日から 2016 年 11 月 8 日にかけて募集を行い、環境報告書部門 217 点、環境活動レポート部門 121 点、あわせて 338 点の応募がありました。審査の結果、以下の賞がそれぞれ決定しました。

[環境報告書部門]

環境コミュニケーション大賞制定 20 回記念大賞(環境大臣賞)	1点
環境報告大賞(環境大臣賞)	1点
持続可能性報告大賞(環境大臣賞)	1点
地球温暖化対策報告大賞(環境大臣賞)	1点
環境報告優秀賞(地球・人間環境フォーラム理事長賞)	3点
持続可能性報告優秀賞(地球・人間環境フォーラム理事長賞)	2点
地球温暖化対策報告優秀賞(地球・人間環境フォーラム理事長賞)	1点
生物多様性報告特別優秀賞(地球・人間環境フォーラム理事長賞)	1点
信頼性報告特別優秀賞(サステナビリティ情報審査協会会長賞)	1点
審査委員会特別優秀賞(第20回環境コミュニケーション大賞審査委員長賞)	2点
環境配慮促進法特定事業者賞	4点
(第20回環境コミュニケーション大賞審査委員長賞)	4 川
優良賞(第20回環境コミュニケーション大賞審査委員長賞)	59点
	環境報告大賞(環境大臣賞) 持続可能性報告大賞(環境大臣賞) 地球温暖化対策報告大賞(環境大臣賞) 環境報告優秀賞(地球・人間環境フォーラム理事長賞) 持続可能性報告優秀賞(地球・人間環境フォーラム理事長賞) 地球温暖化対策報告優秀賞(地球・人間環境フォーラム理事長賞) 生物多様性報告特別優秀賞(地球・人間環境フォーラム理事長賞) 信頼性報告特別優秀賞(サステナビリティ情報審査協会会長賞) 審査委員会特別優秀賞(第20回環境コミュニケーション大賞審査委員長賞) 環境配慮促進法特定事業者賞 (第20回環境コミュニケーション大賞審査委員長賞)

[環境活動レポート部門]

環境活動レポート部門32点	大賞(環境大臣賞)	1点
	優秀賞(地球・人間環境フォーラム理事長賞)	5点
	優良賞(第20回環境コミュニケーション大賞審査委員長賞)	26点

[環境報告書部門] について

環境報告書部門では、環境報告書部門ワーキンググループ委員会による一次選考、審査委員会による二次選 考を経て、受賞作を決定いたしました。

今年度は「環境報告大賞」、「持続可能性報告大賞」、「地球温暖化対策報告大賞」にくわえ、中長期ビジョンで優れた環境経営を実践する事業者を「環境コミュニケーション大賞制定 20 回記念大賞」として表彰します。また、大賞に次いで「環境報告」、「持続可能性報告」、「地球温暖化対策報告」に関する記述について優れた報告書については、「環境報告優秀賞」、「持続可能性報告優秀賞」、「地球温暖化対策報告優秀賞」として表彰します。その他にも、「生物多様性」「信頼性」に関する記述に優れた報告書については、「生物多様性報告特別優秀賞」として表彰するほか、国際的な枠組みに対し積極的に取り組んでおり、統合志向や長期ビジョンを打ち出している報告書やバリューチェーン・マネジメント等において優れた報告書を「審査委員会特別優秀賞」として表彰を行います。

環境配慮経営を意欲的に取り組んでいる事業者の報告書や、わかりやすい情報の開示がなされている報告書など、他の模範としてふさわしい情報の開示を進めている報告書を「優良賞」として表彰します。

[環境活動レポート部門] について

環境活動レポート部門では、環境報告書部門と同様に、環境活動レポート部門ワーキンググループ委員会による一次選考、審査委員会による二次選考を経て、受賞作を決定いたしました。環境報告書部門と同じく、「大賞」「優秀賞」に加え、同業他社や同等の事業規模の事業者間で模範となる優良な環境活動レポートを、環境報告書部門と同様に「優良賞」として表彰します。応募者数の増加に伴い、今年度は表彰枠の拡大を行いました。

4.受賞一覧

環境報告書部門

環境コミュニケーション大賞制定	八田本十二十六	4 -
20 回記念大賞	(環境大臣賞)	1点
大和ハウス工業株式会社	大和ハウスグループ 環境報告書 2016 ~「環境」との共創共	<u></u> 生
環境報告大賞	(環境大臣賞)	1点
コニカミノルタ株式会社	コニカミノルタ CSR レポート 2016	
	コニカミノルタ 環境報告書 2016	
持続可能性報告大賞	(環境大臣賞)	1点
積水ハウス株式会社	Sustainability Report 2016	
	Sustainability Report 2016 別冊	
	Sustainability Report 2016 WEB 詳細版	
地球温暖化対策報告大賞	(環境大臣賞)	1点
SOMPOホールディングス株式会社	CSR コミュニケーションレポート 2016	
環境報告優秀賞	(地球・人間環境フォーラム理事長賞)	3点
イオン株式会社	イオン環境・社会報告書 2016	
	イオン環境・社会への取り組み 2016	
株式会社日立製作所	日立 サステナビリティレポート 2016 詳細 PDF 版	
富士通株式会社	富士通グループ環境報告書 2016	
持続可能性報告優秀賞	(地球・人間環境フォーラム理事長賞)	2点
味の素株式会社	味の素グループ 統合報告書 2016	
	味の素グループ サステナビリティデータブック 2016	
東京海上ホールディングス株式会社	東京海上グループ サステナビリティレポート 2016	
地球温暖化対策報告優秀賞	(地球・人間環境フォーラム理事長賞)	1点
トヨタ自動車株式会社	環境報告書 2016 - トヨタ環境チャレンジ 2050 に向けて-	
	Annual Report:Sustainable Management Report 2016	
生物多様性報告特別優秀賞	(地球・人間環境フォーラム理事長賞)	1点
キリンホールディングス株式会社	キリングループ 環境報告書 2016	
信頼性報告特別優秀賞	(サステナビリティ情報審査協会会長賞)	1点
株式会社クボタ	KUBOTA REPORT 2016 事業・CSR 報告書 フルレポート版	
審査委員会特別優秀賞	(第20回環境コミュニケーション大賞審査委員長賞)	2点
住友林業株式会社	住友林業グループ CSR レポート 2016	
	住友林業グループ CSR レポート 2016 ダイジェスト	

株式会社ブリヂストン	ブリヂストングループ サステナビリティレポート 2015 全ページ版
	ブリヂストングループ サステナビリティレポート 2015 ダイジェスト版
	サステナビリティコミュニケーションレポート 2016
環境配慮促進法特定事業者賞	(第20回環境コミュニケーション大賞審査委員長賞) 4点
国立大学法人京都大学	京都大学環境報告書 2016
独立行政法人水資源機構	環境報告書 2016
国立大学法人三重大学	世界に誇れる「環境先進大学」の社会的責任(USR)を果たすために
	環境報告書 2016
国立大学法人岩手大学	岩手大学 環境報告書 2016

優良賞	(第20回環境コミュニケーション大賞審査委員長賞) 59点
株式会社アレフ	株式会社 アレフ 2015 年度環境報告書
アンリツ株式会社	2016 CSR 報告
	2016 アンリツレポート
イオンモール株式会社	未来への報告書 2016 CSR report
伊藤忠商事株式会社	サステナビリティレポート 2016
エスペック株式会社	CSR レポート 2016
大阪いずみ市民生活協同組合	CSR レポート 2016 社会的責任報告書 ダイジェスト版・詳細版
株式会社岡村製作所	株式会社岡村製作所 CSR Report 2016
花王株式会社	花王サステナビリティレポート 2016
キヤノン株式会社	Canon Sustainability Report 2016
共同印刷株式会社	共同印刷グループ CSR 報告書 2016
グッドホールディングス株式会社	グッドホールディングスグループ CSR 報告書 2016
株式会社ケーヒン	ケーヒン環境報告書 2016
江東区役所	江東区の環境白書 〜江東区環境基本計画 平成 27 年度実績報告〜
コクヨ株式会社	コクヨグループ CSR 報告書 2016 Web 版、ダイジェスト版
サラヤ株式会社	サラヤ 持続可能性レポート 2016
株式会社滋賀銀行	統合報告書 ディスクロージャー誌 2016
	CSR リポート 2016
シスメックス株式会社	シスメックス あんしんレポート 2016
シャープ株式会社 亀山工場	シャープ亀山工場 環境取り組みのご紹介 2016
シャープ株式会社 三重工場	シャープ三重工場 環境・社会貢献活動情報誌 2016

株式会社商船三井	商船三井グループ 安全・環境・社会報告書 2016
住友電気工業株式会社	CSR 報告書 2016
セガサミーホールディングス株式会社	セガサミーグループ CSR レポート 2016
セコム株式会社	セコム株式会社 CSR レポート 2016
株式会社セブン&アイ・ホールディングス	セブン&アイ HLDGS. CSR レポート 2016
大成建設株式会社	TAISEI CORPORATE REPORT 2016
株式会社ダイセキ	株式会社ダイセキ CSR 報告書 2016
株式会社ダイセキ環境ソリューション	環境・社会報告書 2016
大日本印刷株式会社	DNP グループ CSR 報告書 2016
	DNP グループ 環境報告書 2016
株式会社タケエイ	タケエイグループ環境・社会報告書 2016
武田薬品工業株式会社	CSR データブック 2016
株式会社タムロン	CSR 報告書 2016
株式会社ツムラ	ツムラグループ コーポレートレポート 2016
TDK 株式会社	TDK CSR REPORT 2016
東京急行電鉄株式会社	東京急行電鉄 環境報告書 2016
東京都水道局	東京都水道局 環境報告書 2016
	東京都水道局 環境報告書 2016 概要版
株式会社東芝	東芝グループ 環境レポート 2016
株式会社東芝 小向事業所	株式会社東芝 小向事業所 環境報告書 2016
東芝キヤリア株式会社	東芝キヤリアグループ 社会・環境報告書 2016
東洋インキSCホールディングス株式会社	東洋インキグループ CSR 報告書 2016
東レ株式会社	東レグループ CSR レポート 2016
TOTO 株式会社	TOTO 株式会社 Web ページ 「環境へのとりくみ」
凸版印刷株式会社	CSR レポート 2016
成田国際空港株式会社	成田国際空港環境報告書 2016
南海電気鉄道株式会社	CSR 報告書 2016
日本製紙株式会社	日本製紙グループ CSR 報告書 2016
日本通運株式会社	CSR 報告書 2016
日本電信電話株式会社	NTT グループサステナビリティレポート 2016
	NTT アニュアルレポート 2016
パナソニック株式会社	サスティナビリティデータブック 2016
富士フイルムホールディングス株式会社	富士フイルムホールディングス Sustainability Report 2016
ブラザー工業株式会社	環境への取り組み

4.受賞一覧

	環境スペシャルサイト:brotherearth.com
本田技研工業株式会社	Honda SUSTAINABILITY REPORT 2016
株式会社丸井グループ	共創 CSR レポート 2015
	共創経営レポート 2016
三菱樹脂株式会社 平塚工場	2016 環境報告書 三菱樹脂平塚工場
みやぎ生活協同組合	2015 年度環境活動のまとめ
株式会社ヤクルト本社	ヤクルト CSR レポート 2016
株式会社安成工務店	安成工務店グループ CSV レポート 2016
ライオン株式会社	ライオン CSR 報告書 2016
レンゴー株式会社	環境・社会報告書 2016
ローム株式会社	ROHM Group Innovation Report 2016

環境活動レポート部門

大賞	(環境大臣賞)	1点
来ハトメ工業株式会社	環境活動レポート 2016 年版	
優秀賞	(地球・人間環境フォーラム理事長賞)	5点
大鐘測量設計株式会社	42 期エコアクション 21 環境活動レポート	
九州林産株式会社	環境活動レポート 2016	
センテック株式会社	2015年度 環境活動レポート	
株式会社 DINS 堺	株式会社 DINS 堺 環境活動レポート 2016	
廣間組有限会社	環境活動レポート ~環境への恩返し~	
優良賞	(第20回環境コミュニケーション大賞審査委員長賞)	26点
海部地区環境事務組合	エコアクション 21 環境活動レポート	
上島珈琲貿易株式会社	2016年度 環境活動レポート	
株式会社宇部セントラルコンサルタント	エコアクション 21 環境活動レポート	
株式会社エステック 21	エコアクション 21 環境活動レポート(2014年度)	
学校法人有馬学園	環境活動レポート	
認定こども園 高津幼稚園		
株式会社河原工房	株式会社河原工房 2015年度 環境活動レポート	
共和アスコン株式会社	環境活動レポート平成 27(2015)年度版	
株式会社 KDP	環境活動レポート 2015	
株式会社神戸ポートリサイクル	環境活動レポート 2016 株式会社神戸ポートリサイクル	
光洋電器工業株式会社	エコアクション 21 環境活動レポート 第 9 版	

株式会社坂口製作所	環境活動レポート ~未来のこどもたちのために~
有限会社山栄電子	環境活動レポート 平成 27 年度版
株式会社 GE (大栄環境グループ)	環境活動レポート 2016
滋賀シミズ精工株式会社	環境活動レポート 2016 年度版
株式会社シュガーアンドスパイス	2015年 Sugar&Spice 環境活動レポート
白鷺電気工業株式会社	人、くらし、エネルギー。白鷺電気工業株式会社 環境活動レポート
新日本カレンダー株式会社	2015 年度環境活動レポート
三田工場及び配送センター	
静清信用金庫	環境活動レポート 2016
株式会社セリタ建設	株式会社セリタ建設 環境レポート 2015
株式会社中西	環境活動レポート
西岡化建株式会社	2016年度 環境活動レポート
福井環境事業株式会社	福井環境事業株式会社 環境活動レポート 2015 年度
株式会社フジヤマ	エコアクション 21 環境活動レポート 2015
株式会社北陽商会	環境活動レポート "地球と仲良し"【Vol.12】
株式会社みやま	第 53 期環境活動レポート
株式会社弥生石油店	エコアクション 21 環境活動レポート 2014年 12月~2015年 11月

環境報告書部門

環境コミュニケーション大賞制定20回記念大賞(環境大臣賞)

大和ハウス工業株式会社

大和ハウスグループ 環境報告書 2016 ~「環境」との共創共生



共に創る。共に生きる。



創業100周年にあたる2055年を見据えた環境長期ビジョン を掲げた上で、2030年前後の中間目標、3か年ごとの中期目標 を掲げて単年度ごとの行動計画を実践している点が特筆すべき 点である。経営トップから現場第一線での実践まで、環境に関 する取組の一貫性と、その取組が継続的かつエンドレスである という姿勢とを強く感じた。

また、報告書自体も、経営トップのメッセージから現場での 実践まで、とてもわかりやすくまとめられている。





4トップメッセージ

環境課題の解決とステークホルダーとの価値共創により、

地球規模の環境課題 国際社会において経済格等や韓国 食料など さまざまな課

国際社会において継承商差や負担。原料なる、ごまでまな課 額が山積していますが、特に気候変動がもたらす異常気象など は近年、世界や日本各地で頻発しており、根架の課題と言えま す。これらの課題を解決するために、2015年は国際社会におい て環境に関する大きな枠組みが始まりました。国連気候変動枠 組条約「COP21」のパリ協定と国連の持続可能な開発目標 組条約ICOPZIのVIDEACC国連の特徴の際な研究目標 ISOSG1です。バリ協定では、全体の同形として世界の中地気 温上昇を屋栗革命前と比較して2度未満に抑えるICとが掲げ られ、具体的な長期目標として1人能活動にある温室効果ガス 機計量を実際的にはぜひにしていくごとが掲げられました。 また、SDGsでは、世界で持続可能な社会を実現するための 2030年目標を採択し、健康や福祉、エネルギー、気候変動、平 和社会など、17の達成目標と169のターゲットを設定しまし た。いずれの枠組みにおいても、地球環境への取り組みは長期

的な目標が設定されており、企業としても今後は長期的な視野 に基づいた環境活動が求められています。

環境長期ビジョン・環境行動計画の策定・推進

これらの目標に取り組んでいくため、大和ハウスグループの 持続的成長に向けた羅針盤として、「サステナブルビジョン」~ 世界のくらしを、よりよくする。社会と共に、人と共に、限りない 世界のくちしを、よりよくする、社会と共に、人ど月に、限りない 技術へ、一を指定、環境でしている「世界を見解じか」の2005年を見 思えた環境長期にジョン(Foallenge ZERO 2055日を策定し、 環境負荷ゼロを目指して、取り組みを進めています。この長野 ビジョンでは、当社グループが事業特性から考える4つの重点 テーマ (世球温暖だれた) [日本原理・の時間 | 日本原理・の時間 | 日本原理 学物質による汚染の防止」において2055年までのロードマッ プを描き長期目標を設定、調達から生産・輸送・施工・居住・

■ 環境経営を通じた価値創造プロセス 地球温暖化防止 エネルギーゼロの 住宅・建築・街づくりの推進 自然環境との調和 開発・街づくりにおける様の 保全・創出の推進 Life 建設廃棄物における 3 R 活動の推進 化学物質による汚染の防止 土地購入時の 土壌汚染リスク管理の強化 $\overline{}$ 環境経営の基盤 グループ・グローバルにおける 環境パフォーマンスデータの 信報性向上 グループー体での環境法管理 システムの構築・運用

持続可能な社会の実現を目指します。

改修・解体までのライフサイクル全体で「環境負荷ゼロ」に

会等・解体すでのライフダイル上生体で「環境発信で口」に 接触します。 また、この環境長期ビジョンを達成するためにバックキャ スティングにより、今年度から始まる新しい環境行動計画 「エンドレスタノ」・フィブクラムの10 を実施とました。こ の行動計画では、「環境と企業収益の両立」に向けて、「ライフ サイクル思考にもとづくグループ・グローバル一体での環境経 営の推進」をコンセプトに、環境への取り組みを加速させます。

ステークホルダーとの価値共創

当社グループは、「大いなる和をもって、社会に貢献する事 業を追求する」という創業精神に基づき、常に社会から必要 とされる持続可能な企業を目指しています。

とされる特核可能な企業を目指しています。 私たちが提供する住宅や建築的は、鉄材や木林、内接材 の連料など自然資源と化学物質を利用し、建設後は長期に わたり利用されるため、電力をはじめとする多くのエネル ギーが必要となります。さらに、私たが手が力なみます。 観光や街づくりにおいて、自然環境や生態系に与える影響も 少なくありません。

これらの環境負荷任道に向けては、お取引先やお客さま これの少環境到時間に減に同じては、お飲むがたやらささま を含めたサプライチェーン全体に環境活動を拡げていくこと が大事だと考えています。 例えば「調達」段階の取り組みとして、2015年7月に新た に「CSR調達ガイドライン」を策定、社会性・環境性に関する

幅広い調達基準を明文化してお取引先とともに推進してい ます。「エンドレス グリーン プログラム 2018」では、この「調達」段階についての取り組みを加速していきます。

選別期間についての取り組みを加速していきます。 一方で国内の部門別CO2排出量をみると、家庭部門と果 務部門がこの四半世紀で約7割増加しており、対策が遅れ ています。今後供給される新築住宅・建築物に関しては、ス マート化(創エネ・省エネ)が求められていることを十分に認識し、当社だけでなく、業界全体が一丸となり、ZEH・ZEB 風い、当社だけでなく、実界空体が一丸になり、たけ・22k の歌い組みを確認していきます。また、スマート化が遅れて いる仮存の仕宅・建築物に関しても省エネリフォームを推進 して、消費エネルギーの所滅に加え、お客さまの安全性や 快速性をより一層形成といきます。 今後も凹社グループは、建設・不能産業界のトップラン

ナーとして責任と自覚を持ち、さまざまなステークホルダー とともに環境と共生した住宅・建築・街づくりを通して、持続可 能な社会の実現に貢献していきます。



3 環境報告書 2016

環境報告大賞(環境大臣賞)

コニカミノルタ株式会社

コニカミノルタ CSR レポート 2016 コニカミノルタ 環境報告書 2016



印刷物として非常に読みやすく、コミュニケーション本来の意味において力のある環境報告書であることが感じられる。最初にエコビジョン 2050 が示され、続いて環境方針を経営責任者が述べ、製品、調達・生産、グリーンマーケティング毎の取組について具体的に述べていくという構成となっている。マテリアリティを再特定し環境を優先課題としただけに豊富な情報量である。整備されたデータが文末にまとめて公開されており、参照しやすい。

トップコミットメント

人間社会に資する価値創造に挑戦することで、 社会から支持され、必要とされる企業を目指します。



社会に資する価値創造に向けて、 挑戦を続けるコニカミノルタ

技術革新やグローバル化の進展などを背景に、世界中 できまざまな「創造的破壊」が生まれています。こうした時代 にあって、コニカミノルクが経営とジョンに限ける「ゲワー バル社会から支持され、必要とされる企業」を実現していく ためには、ビジネスを社会課題の解決に結びつけることが 重要だと考えています。場ってきたコア技術やグリハクを検 に、社会課題の解決に寄りする場合、サービスを全が出し ていくことで、社会から必要とされる企業として持続的に成 長することができる。私は十分確信しています。

こうした考えのもと、中期経営計画「TRANSFORM 2016」では、事業の成長を目指すとともに、「地球環境課 題の解決への貢献」と、「人間のクオリティ・オブ・ライフ向 上への貢献」という2つを軸に、人間社会に貢する新たな 価値制制に取り組んでいます。

地球環境課題の解決に貢献する、

気候変動をはじかとした地球環境問題の解決は、国際 社会にとって顕認り課題で、コニカミノルタでは、環境会 者を影制に了機可能を社会がくりに貢献していてため に、2050年を見聴えた長期環境ビジョン「エコビジョン 2050年を見聴えた長期環境ビジョン「エコビジョン 2050年を見聴えた長期環境ビジョン「エコビジョン 2050年の開け、CO2時出業を2005年度比下80%削減す ることに既り組みでいます。CO3時間を砂度設入を設 環境負荷の低減は持続可能な社会の実現と同時に、コス トゲウンによる経済的価値の創出に未繋がります。ころした 認識に基づき、コニカミノルタは環境価値の創出と事業価 値の増大を課題させ、企業価値を向上させる限り組みを構 進しています。例えば、資業利用の特殊可能性が関われる なか、ミルクボルトを接合機のシナーボトに再生する 独自のアップグレードリサイクル技技術で開たし、資素の得 独自のアップグレードリサイクル技術を開発し、資素の者 効利用と材料調達コストの削減を同時に進めています。

さらに、グループ内での実践から得られた環境・グハク を、お客様やお取引先に提供し、一体となって環境負荷形 減に取り組んでいます。これにより、一企業だけの取り組 みにとどまらず、遥かに大きな低減効果を生み出すことを 推進しています。

これらの活動をグローバルに展開することで、自らの事 業成長を図るとともに、地球環境への貢献を果たしてい きます。

クオリティ・オブ・ライフ向上に貢献する、 課題解決型企業へ

loT(Internet of Things)やAI(人工知能)、ロボットなどに代表される技術革新は、お客様の課題のみなら
す、社会課題の解決にも寄与する可能性を持っていま
す、ユニカミルルなし、これら最先端の技術を構動的大阪
り込み、強みとするデジタル入出力の技術と融合させることで、社会課題の解決に寄与するリリューションを生み出
す「課題等決型アジタルカンパニー」への業容転換を進
かています。

なかでもコニカミノルクの強みは、オフィスをはじめ、さま ずまに実施・乗ぎで他く人々のワークフローを変ますること です。その一つの例が、センシング技術や画像処理技術と ICT (Information and Communication Technology) を融合した「ケアサポートソリューション」です。このシステ ムは、高数社会の選尾とも任人材不足が深刻化している 介護規模に着し、介理スタッの重複効率化に貢献する ために開発、展別を始めています。

こうした付加価値の高いソリューションビジネスを次々 に創出し、広く社会に提案していくことで、ビジネス面での 成長とともに、人間のウオリティ・オブ・ライフ向上に貢献 していきます。

多様性を重視した経営の推進

社会が直面する課題が多岐にわたり、人々の価値観が 多様化する現在、社会に資する価値創造をスピーディー に、そして継続的に実践していくためには、事業活動にお いても幅広い価値観が必要になります。

そこで現在、国場や文化、性別、年齢、専門性などを同 りず、多様な人材で流かす体制プイクや風土プイクを、グ ループ全体で推進しています。従来にない発想でイメ ペーションを生み出すべく、世界中のままざまな国 地からの人財会削や、広い視野を持ったグローパル人材の 育成、女性の活躍をさらに活性化させるための環境整備 などに、提習者として実際に取り組んでいきます。

グループの総合力を結集し、 国際社会への責任を果たしていく

コニカミノルクは、これまでにも、国連グローバル・コンパ クトに署名し、幅広い側面で社会的責任を果たしていく意 思を表明しており、この方針のもとにCSR活動を推進してき ました。近年では、2015年9月15日に国産で「特核可能な開発目 解(SDGs)」が採択されるなど、社会課題の解決のために、 ◆業のより解解的な行動が求められると

コニカミノルクでは、多岐にわたる社会課題を改めて借 際し、重点的に取り組むべき6つのマテリアリティ(重要課 題)を再特定しました。これらの重要課題に、世界4万人 のグループ定業員が一人となって取り組じことで、社会の 期待に応えながら、持続的な成長を実現していきます。 たからのコニカミノルタに、どうそと関格だださい。

コニカミノルタ株式会社

山名昌衛

KONICA MINOLTA CSR REPORT 2016 4

持続可能性報告大賞(環境大臣賞)

積水ハウス株式会社

Sustainability Report 2016 Sustainability Report 2016 別冊 Sustainability Report 2016 WEB 詳細版

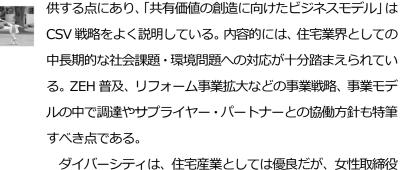
同社の事業モデルはグループで一貫した製品・サービスを提



SLOW & SMART



Sustainability Report 2016 ~ CSV(共有価値の創造)に向けた取り組み~



ダイバーシティは、住宅産業としては優良だが、女性取締役 の誕生が待たれる。







追いかければ、結果的に誰も得をしないという状況が 生まれます。お客様も、戸感うばかりです。これはあくま でも一例です。しかし、さまざまな分野でオールジャパン の視点から、国力すなわち国家の総合力を高めることが

家庭が占める電力消費割合

住宅の資産価値が減少

約540兆円

課題になっているのではないでしょうか。 温室効果ガスの削減にも当てはまります。地球規模の 問題であり、一企業で対応できるはずがありません。日本 の場合、電力の約3分の1を消費する家庭部門、つまり い場合、風力が約3万の1を消費する訴戒部に入っます。 全住宅の省エネ化が大きな影響力を持っています。住宅 産業の責任に重大です。単なる省エネ推選という従来の 発想を超えた新しい総合的な対応策が求められているの です。

新築だけでなく、 既存住宅の創エネ・省エネ化を推進

現在、国内の電力事情、エネルギー問題もあり、家庭部 門のCO2排出量は大幅に増加しています。政府は、生活 時のエネルギー収支をゼロにするネット・ゼロ・エネル ギー・ハウス (ZEH) の普及を進めるため、2020年までに 住宅メーカー等の新築住宅の過半数をZEH化するという 具体的な目標を掲げました。まさに、オールジャパンのプロ ジェクトです。 しかし、その数は日本の住宅総数のわずか 1%未満。 私が加えて訴えたいのは、圧倒的なボリューム を持つ既存住字への対応です。 新築住字の数を積み上げ



ても限界があります。既存住宅の創エネ・省エネ化による

高齢者人口の増加

経済負担となる医療費

2014年度の医療費が 2014 - 40兆円 - h/4036%を占める

3人に1人が65歳以上

○ の旅庁がのります。欧村は七の御1・ボールドルよっ 温室効果ガス用鉄線制に「けた漁・いマす。 これまて、環境技術をはじめとする先進の七年技術は、 よに新総任をの機能制化に送かれてまました。これからは、 その実施、ノウハウを展存住年にも投入する時代です。 様本ハウスが展在・グループ全体で送力している分野でも あります。補修・増改版のイメージが強かったリフォーム の概念を一新する意識改革も必要です。それは住宅産業 の概念を一新する意識改革も必要です。それは任用産業 の社会的使命だともいえます。さらに、良い、羽は壊さない、 軽度な住宅を社会資本としてスルーズに流造させる。 総与した、特勢可能な社会ダイの現点から重要なケーマで す。頼水のクスは「健食人キック性を連進協協会(アスルトック)」の主要メンバーとしての活動を進めています。 私は政府との「未来投資に向けた官を対しの席で、 こうした現状を訴えるとともに、具体的な政策関節をさせていただきました。政府からは、ZEH化の産業に加え、 電エネリフォール、リノバーションへの変質者も洗され はエネリフォール、リノバーションへの変質者も洗され

省エネリフォーム、リノベーションへの支援策も示されました。環境、エネルギー問題という社会課題解決に住宅 が果たす役割、とりわけ既存住宅への対応や優良住宅の 流通などの新しい視点が提示でき、理解、賛同を得られ ました。温暖化対策だけでなく、総合的な視点からの住環境の改善など、日本の将来にとって非常に意義があった

と考えています。 もう一点、訴えたのが、マンションのパルコニーなどにも もう一点、訴えたのが、マンションのパリユニーなどにも 整盤が容易な軽率機能の主力は一点を が表現して、一般的な実現の 燃料電池のエネルギー効率は火力発電所の約2点、表頭 の発電も可能です。現在、エネルギー基本計画でも 2030 中に裏計530万台の導入が日標とされています。その ハードルになっているのが機能です。メーカーの設備校 現に対する効果相談とど数別的なパックアップが不可み だと主張しました。官民一体となって知恵を絞り、豊差に よって50万円をマスメータツンのを打は、原存性やの出 それにおける強力な軽進力になることは関連、ありま サム・無本パップは非主要率の川ーエッソイカンパーニ せん。横水ハウスは住宅産業のリーディングカンパニー として、こうしたオールジャパンの取り組みをけん引し さらなる環境技術の開発と普及にまい進する覚悟です。

地球温暖化対策報告大賞(環境大臣賞)

SOMPOホールディングス株式会社

CSR コミュニケーションレポート 2016)





損保ジャバン日本興亜ホールディングス株式会社

気候変動については早い時期から日本の金融機関の牽引役で あり、全国の代理店を含むバリューチェーンにおける緩和と適応 に積極的に取り組んでいる。緩和では、GHG 排出量削減目標と して 2002 年度比で 2020 年までに 40%削減、2050 年までに 70%を設定し、着実に取り組んでいることがうかがえる。また、 2008年にはカーボン・ニュートラル宣言を発表し、2014年度 に全量オフセットにより"実質ゼロ"を達成した。適応では、積 極的な保険商品開発を行い、とくに東南アジアにおいて天候イン デックス保険を積極的に提供している。



Top Commitment トップコミットメント

社会的課題の解決を通じて、 サステナブルな 社会の実現と 当グループの成長を目指す

さまには、心からお見舞い申し上げますとともに、一日 としての社会的使命を改めて強く認識しました。 も早い復興をお祈り申し上げます。

ま対応を行ってまいりました。

心することができた」「心細い生活の中で、元気をもらった」

2016年4月に発生した熊本地雷により被災された皆 などのお言葉をいただき、「安心」を提供する企業グループ

世界では、地震を含めた大規模な自然災害が常態化 当グループでは、被災されたお客さまに一日でも早しており、また、貧困、人権問題、健康問題など、さまざ く保険金をお支払いするために、全社一丸となってお客さ まな社会的課題が顕在化しています。これらの課題は、 当グループの事業にも密接に関わっており、今後も商 お客さまと接するなかでは、「親身に接してもらい、安 品・サービスを通じた解決策の提供に注力していきます。 当グループは、2016年度から新たな中期経営計画 をスタートしました。新中期経営計画では、「安心・安全・ 健康のテーマパーク」を掲げ、介護・ヘルスケア事業へ の本格参入など幅広い事業展開や、最新のデジタル技 術などを活用した魅力ある特徴をもった事業・サービス を提供し、当グループの持続的な成長とサステナブルな 社会の実現に貢献していきます。

損保ジャバン日本興亜ホールディングス株式会社 グループ CEO 取締役社長

櫻田謙悟

CSR コミュニケーションレポート 2016 4

環境報告優秀賞(地球・人間環境フォーラム理事長賞)

イオン株式会社

イオン環境・社会報告書 2016

イオン環境・社会への取り組み 2016

「今とこれから Forward」という記事が、グループのこれまでの活動の流れや、実績について一目でわかるようになっており、わかりやすい。各テーマに紐づいた KPI、目標、実績、取組内容が一目で見え、また、課題認識、イオンのアプローチ、今後の取組が記載されており、全体的に読者へのわかりやすさを意識した内容となっている。

節水やマテリアルフローに関する記載の充実が今後は望まれる。また、公表媒体をステークホルダー別 に用意しているが、その公表媒体の種類や対象に関する記載があるとよりよいと思われる。

株式会社日立製作所

日立 サステナビリティレポート 2016 詳細 PDF 版

「環境」はサステナビリティレポートの主題の一つではあるが、世界の動向と経営方針を踏まえた「環境ビジョン」の下、環境長期目標「日立環境イノベーション 2050」を策定し、その実現に向け環境行動計画を設定、技術やソリューションの開発に取り組むことがトップコミットメントで記されている。また、KPI がわかりやすく示されている。CO2排出量推移に関しては第三者審査を受け、再生可能エネルギーの導入量も明記されている。

富十通株式会社

富士通グループ環境報告書 2016

社長諸言において、SDGs やパリ協定など国際的に重視されている持続可能性の課題に言及した上で、ICT 企業としてそれらの課題解決にどのように貢献していくかを明確にコミットしている。社長諸言の流れに沿って報告書全体が構成され、なおかつ「第8期富士通グループ環境行動計画」のテーマごとに、リスク・機会の観点も踏まえたマネジメントアプローチが記載されているなど、経営と環境活動が一体的に執り行われていることが読み取れる。環境指標ごとにバウンダリが一覧されており、わかりやすい構成となっている。

持続可能性報告優秀賞(地球・人間環境フォーラム理事長賞)

味の素株式会社

味の素グループ 統合報告書 2016

味の素グループ サステナビリティデータブック 2016

味の素グループが事業を通じて解決に取り組むべき「21世紀の人類社会の課題」(「地球持続性」、「食資源」、「健康な生活」)と17の国際目標「持続可能な開発目標(SDGs)」との関わりを整理し積極的に取り組んでおり、中期経営計画で非財務側面での目標を明確化する計画を明記している。

さらに、とくに事業と関わりの深い9つの SDGs 目標について、事業活動による対策を掲げており、リーディングカンパニーとして他の範となるものであり、高く評価できる。

東京海上ホールディングス株式会社 東京海上グループ サステナビリティレポート 2016

業種特性を踏まえた社会的課題の解決とサステナビリテイ志向による企業価値向上の姿勢が明確である。 3 つのマテイリアティ特定と未来志向の CSR アプローチも評価できる。 事業環境の変化と CSR 課題が明確に認識され、バリューチェーンにおける主要ステークホルダーごとの CSR 課題の抽出は具体的である。

中期経営計画で主要 CSR テーマを明示していることは評価できる。2006 年度比で 2050 年度に▲60% の長期目標が設定されているが、カーボン・ニュートラルに頼らない具体的な実践計画の策定を期待したい。

地球温暖化対策報告優秀賞(地球・人間環境フォーラム理事長賞)

トヨタ自動車株式会社 環境報告書 2016 - トヨタ環境チャレンジ 2050 に向けて-Annual Report:Sustainable Management Report 2016

2050 年という超長期の6 つのチャレンジ目標を設定し、全世界の工場やライフサイクル全体で CO_2 排出ゼロを目指すという意欲的な目標など、その多くが具体的な数値目標を伴っている。報告書は、それぞれの目標達成に向けての具体的な取組とその途中経過が数値データと共にわかりやすく説明されている点で評価できる。また、 CO_2 をほぼ排出しないような自動車の普及を目指すという長期の目標実現を通じて、社会全体を脱炭素の方向へと導くことが強く志向されている点が高く評価できる。

生物多様性報告特別優秀賞(地球・人間環境フォーラム理事長賞)

キリンホールディングス株式会社

キリングループ 環境報告書 2016

キリングループ長期環境ビジョンにおいて重要なテーマとして「生物資源」を掲げ、2050 年目標のもとに活動を行っている。自社の取り扱う生物資源について現状調査を行い、特定された資源についてそのリスクに応じた取組を継続的に実施している。活動は自社のみならず、サプライヤーや外部団体との協力のもとに行われており、成果が上がっている。また、自社に直接かかわる活動だけでなく、事業所が所在している地域の生態系における問題への対応や、自然保護などの活動も積極的に行われている。自社に関連する生物資源への一貫した取組に加え、社会課題としての生物多様性の問題への取組へと活動が拡大しており、生物資源に関する取組への姿勢がうかがえる。

信頼性報告特別優秀賞(サステナビリティ情報審査協会会長賞)

株式会社クボタ KUBOTA REPORT 2016 事業・CSR 報告書 フルレポート版

地球環境保全の担当役員を任命し、社会課題とビジネスの関わりを深く認識した上で持続可能性に関わる最新動向を踏まえながら取組を進められている点がよく読み取れる。グループ会社とのミーティングも 積極的に行っており、環境負荷の全体像がわかりやすく、各ステークホルダーに対する方針も明確である。

環境取組を網羅的に報告している点が高く評価できるが、社内にどの程度浸透していのかが読み取りやすくなるとなおよい。今後は、取組実績に対する分析を行い、自社として何に重点を置き、取り組むべきかについて検討されることを期待したい。

審査委員会特別優秀賞(第20回環境コミュニケーション大賞審査委員長賞)

住友林業株式会社 住友林業グループ CSR レポート 2016 住友林業グループ CSR レポート 2016 ダイジェスト

CSR 重要課題の筆頭に「持続可能性と生物多様性への配慮」を掲げるとともに、自社の事業特性である木材・森林を基軸とし一貫して取組を推進されていることがよく読み取れる。全体的に必要な項目に漏れなく、丁寧にまとめられたすばらしい報告書である。本レポートとダイジェスト版の中間的なボリュームなど、もう少しコンパクト化できればなおよい。内容的には、経営・CSR や環境面の記載に加えて、グローバル・コンパクトをはじめとする人権の尊重や人の育成、さらには国内外の地域とのつながり・連携についても明確に報告されていた点が特徴的であり秀逸である。

株式会社ブリヂストン ブリヂストングループ サステナビリティレポート 2015 全ページ版 ブリヂストングループ サステナビリティレポート 2015 ダイジェスト版 サステナビリティコミュニケーションレポート 2016

グローバル企業らしく、トップ自ら持続可能性に関する最新動向を踏まえ(サーキュラーエコノミー的 観点)、取組にコミットし、具体的な数値とともに明言している点が秀逸である。2020 年目標を前倒しで 達成し、社会動向に合わせて 2050 年の長期目標を CO₂以外でも掲げている点でも評価が高い。グローバ ルを含めた推進体制が明確である。

サステナブルマテリアル化への取組は、事業上のリスク・機会、財務的影響と関連付けられることを期待したい。

環境配慮促進法特定事業者賞(第20回環境コミュニケーション大賞審査委員長賞)

国立大学法人京都大学

京都大学環境報告書 2016

レイアウトや構成に工夫が見られ、また、ページ数も多くせずに、ポイントを絞った報告書となっている点が評価できる。また、「エコ〜るど京大」など、具体的に実践されている取組を特集にした点もよい。 単なる報告書を超えた、きっかけづくりを意図して作成したとのこともすばらしい。

環境報告書ガイドラインが求めている項目について、もう少し詳細な記述があるとなおよい。

独立行政法人水資源機構

環境報告書 2016

事業内容が初めて読む者にも理解できるように工夫され、わかりやすく説明されている。独自の環境マネジメントシステム(W-EMS)を構築・運営しており、事業内容と整合した内容となっていることが高く評価できる。事業形態による制約があるためか、定量的な環境目標が設定しにくいことや持続可能な社会への意識は読み取れるが取組は少ないことが気になる。

また、オオサンショウウオ保全など自然環境保護だけではなく、生物多様性の視点からも考えることで 環境活動と報告書の内容がさらに充実する。

国立大学法人三重大学

世界に誇れる「環境先進大学」の社会的責任(USR)を果たすために 環境報告書 2016

本来の目的である研究、教育について人材育成に力を入れていることが伝わってくる報告書である。地方創生に関わる人材育成については多くの大学が行っているが、「科学的地域環境人材」育成プログラムは社会との連携による実践的な取組であり、持続可能な社会構築への大きな貢献となる。付属学校の児童生徒向けに「環境方針」のわかりやすい解説文を 2015 年度から作成公開していることに環境活動への意識の高さと緻密さと伝えることの意欲を感じる。

しかし、網羅的な記載であるため、環境活動の全体像が見にくくなっている。環境活動を系統的に整理 し、レイアウトに工夫があるとさらに読みやすくなる。

国立大学法人岩手大学

岩手大学 環境報告書 2016

ページ数を多くせず、読んでいただこうという意図を感じる構成でありながら、環境報告ガイドラインが求める項目をほぼ網羅している点が評価できる。環境マネジメント学生委員会の学生と教職員が協力して作り上げた点も素晴らしい。また、環境マネジメントシステムに関する記載が詳細であることは、日常的にしっかりとした運用がされていることの証左となっている。

研究や教育の具体的な事例がもう少しあるとなおよい。

優良賞

株式会社アレフ

株式会社 アレフ 2015 年度環境報告書

食・農業・環境を重要なテーマとして事業を展開され、それらに関する取組について詳細に報告されている。環境については環境行動計画を策定しており、自社が関わるエネルギー、原材料、廃棄物、生物多様性など多くの取組に積極的に着手している様子が読み取れる内容となっている。

現状でバランスのよい事業活動と書き方がされているが、次のステップとして「中長期を見据えた活動目標」や「重要なテーマの特定」などを検討していくと、さらに進んだものになると思われる。

アンリツ株式会社

2016 CSR 報告

2016 アンリツレポート

事業規模が 5,000 億以上の企業に比肩する情報開示となっており、ステークホルダーとの対話を事業に 反映させている点も含め、サステナビリティに対する真摯な姿勢が伝わる報告書である。今後の取組課題 として、長期的な環境目標をトップコミットメントとして提示されることを期待する。

イオンモール株式会社

未来への報告書 2016 CSR report

必要な項目についてほぼ網羅され、かつコンパクトに提示されており、全体的にとてもわかりやすい報告書である。特に報告書前半の特集記事は、取り上げているテーマ・内容のバランスがよく秀逸である。 一方、数値的目標や実績の提示について、特に中長期的な目標や推進計画についてしっかりと記載があればさらによい。

伊藤忠商事株式会社

サステナビリティレポート 2016

全社の CSR 統括役員として CSO を任命していることは、長期戦略の観点から評価できる。また、CSR の社内浸透調査による課題抽出も評価できる。4 つのマテリアリティを特定し、事業分野毎に重点事項の リスク・機会の観点も明確である。

全体の長期目標や KPI を策定することが今後の課題である。CSR マテリアリティの筆頭に気候変動が 位置づけられ、再生可能エネルギー事業も積極的だが、石炭火力発電投資の考え方があるとよりよい。

エスペック株式会社

CSR レポート 2016

事業特性を踏まえ、ステークホルダー別に各課題についてバランスよく、また万遍なく記載されており、 評価できる。トップコミットメントでは、パリ協定やSDGsの認識もされているので、今後は全体を通じ て明確に実行されるようになることを期待する。

一つひとつの話題、テーマの記載が概要にとどまっているので、もう少し掘り下げて書かれるようになるとよい。たとえば、グリーン調達基準、環境配慮開発設計ガイドラインなど、どのような内容で、どこまで掘り下げられているのか、少し加えられると、読者の理解が深まると思われる。

大阪いずみ市民生活協同組合 CSR レポート 2016 社会的責任報告書 ダイジェスト版・詳細版

事業規模、範囲が地域限定でありながら、社会的責任に関する取組、情報開示などが優れており、わかりやすい。

重要なステークホルダーである顧客層を意識してか、親しみやすいデザインも好感が持てる。

過去 5 年間の推移が記載されているが、中長期計画についての記述、温室効果ガス排出などに関する記述を加えるとなおよい。

株式会社岡村製作所

株式会社岡村製作所 CSR Report 2016

木材資源に対する調達方針を掲げ、方針に対して何を行うのかを明確にしている点が高く評価できる。 事業特性に応じた資源循環の仕組をグループで構築しており、引き取り製品・梱包材のリユース・リサイクル率を把握し、向上に取り組まれている点は秀逸である。環境取組の実績(CO_2 削減と木材調達)に対してさらなる削減に向けた記載が見られる。

今後は記載の幅が計画におよぶことを期待する。

花王株式会社

花王サステナビリティレポート 2016

生物多様性に関し、本業において目標設定・取組・進捗状況を適切に管理している点がよく描かれている。主要原料であるパーム油について、各目標に対する実績を示しつつ、グループの認証油購入実績を経年比較グラフで開示している。情報の信頼性担保の取組もよい。生物多様性に関する地域活動は国内外各地で展開しているが、体制を明示していない点が課題である。またハイライト版においても、認証パーム油購入実績などを生物多様性への取組として開示することが望まれる。

キヤノン株式会社

Canon Sustainability Report 2016

「共生」の企業理念の下、世界各地の多様なステークホルダーとの間に様々な対話の機会を設けている。 またステークホルダーアンケートを行い、期待の確認やマテリアリティを特定している。スコープ 1, 2, 3 において第三者保証を得ている点も信頼できる。活動の広さ深さが読み取れる作品である。

共同印刷株式会社

共同印刷グループ CSR 報告書 2016

全体的に読みやすくわかりやすい報告書になっている。短期環境目標のみならず、5 年間の中期環境目標の多くが数値化されているとともに、目標の進捗状況が、データと記述によってわかりやすく説明されている。企業内外のステークホルダーの「生の声」が多く取り入れられ、ステークホルダーとの積極的な対話姿勢をうかがい知ることができる。ネガティブ情報の開示も行っている点も評価したい。

マテリアリティの検討や目標設定プロセスについての記載や、信頼度を高める一層の工夫がなされていればなおよい。

グッドホールディングス株式会社 グッドホールディングスグループ CSR 報告書 2016

苦情の内容と原因、対策に関する記載が詳細であり、過去の苦情についても触れられており、透明性が高いことが評価できる。バイオマスボイラー導入の記事も読者によく伝わるものとなっている。インターンシップ生による CSR 報告書の制作を試み、何度も取材、会議を開催して親しみやすい報告書としたこと、グループとしての重要課題の設定につなげている点が優れている。

今後、グループ会社の足並みをそろえた取組による記載を目指してほしい。また中長期 2030 年に向けた地球温暖化対策の目標の記載が望まれる。

株式会社ケーヒン

ケーヒン環境報告書 2016

定量的な中期目標を掲げるだけでなく、2050年という長期目標として、CO₂排出量、廃棄物処分量および水使用量の半減を明確に表明し、意欲的に活動に取り組んでいる姿勢が表れている。バリューチェーン全体を意識しており、特に購買と輸送における環境保全活動についてはデータを豊富に用いて説明している点で評価できる。

中長期の目標設定プロセスの透明化、ステークホルダーの取込および信頼性の確保に向けた一層の取組を期待したい。

江東区役所 江東区の環境白書 ~江東区環境基本計画 平成 27 年度実績報告~

江東区が掲げる「6つの柱」に基づいてレポートが構成されており、方針、目標、計画に関して一貫性・整合性があり、読みやすい。数値情報も目標値に対する実績値がわかりやすく表示されているほか、用語説明などもきちんとされており、環境に馴染みのない区民でも理解しやすい工夫が施されている。

ただ、基本的に内容が白黒のレポートのため、読ませることを意識する冊子にするのであればもう少し 色彩のあるレポートになるとよりよい。

コクヨ株式会社 コクヨグループ CSR 報告書 2016 Web 版、ダイジェスト版

ISO26000、GRI に則り編集を行っている。2015 年度の振り返りなど、報告書としての編集が読者にわかりやすくできている。スコープ3の取組を開始し、第三者検証を得ている点が評価できる。ReEDEN による生物多様性の独自の取組の継続がよい。

低炭素社会に係る中長期目標の設定、循環型社会形成の取組のリードなど、さらなる活動の拡充を期待したい。

サラヤ株式会社

サラヤ 持続可能性レポート 2016

第三者意見にあるように「事業に関わる目の前の課題の解決に真剣に取り組んでいる様子」が強く伝わる構成である。GRI-4版とSDGsの対照表を上・下流のサプライチェーンも含めて引用するなど、事業規模に比べ先駆的な取組が目立ち、評価できる。

今後は事業3部門の売り上げ構成比開示など、読み手の初歩的な関心事への配慮も望まれる。

株式会計滋賀銀行

統合報告書 ディスクロージャー誌 2016

CSR リポート 2016

環境経営をリードする地銀として着実な実績を上げている。第6次中期経営計画の副題が「戦略的 CSR」であり、本業による社会的課題解決への意欲が伝わる。取組で特記すべきは、カーボンニュートラル店舗である。今年度から統合報告書(ディスクロージャー誌)を発行したことで、CSR リポートは一般向け簡易版となったが、基本戦略と取組内容は簡潔にまとまっている。

シスメックス株式会社

シスメックス あんしんレポート 2016

医療・健康分野を中心としたトップの課題認識が明示されており、評価できる。今後は、社会の持続性 と企業の持続性・成長性との関係まで踏み込んだコミットメントにおよぶ記載がなされるようになること を期待したい。

個別の記載内容については、比較的まんべんなく記載されており、また、データ一覧は豊富。データカ バー率の掲載も有用である。

環境のトーンは全体から見れば中心ではないが、2020 年に向けて 2008 年基準、 CO_2 排出原単位-50%を掲げており、評価できる。

シャープ株式会社 亀山工場 シャープ亀山工場 環境取り組みのご紹介 2016

イラストや写真を多用し、かつ環境保全効果をたとえば「杉の木」、「身近な騒音」、および「ドラム缶」 に例えるなど、想定している主な読者である地域住民の皆様が本報告書を読んでも、理解しやすいようさ まざまな工夫が見られる。ステークホルダーも、亀山市長をはじめ、従業員、省工ネ関連の専門家他、多 岐にわたっており、双方向のコミュニケーションを図っている姿勢が伺われる。

しかし、一番重要な地域住民の声やご意見が掲載されていないのは残念である。さらに、内部監査の結果(指摘・観察事項の件数)や外部審査の結論は確かに記載されているが、その内容のポイントも記載すればよりよい報告書となる。

シャープ株式会社 三重工場 シャープ三重工場 環境・社会貢献活動情報誌 2016

特集ページで紹介されているように、三重工場は「2015 年度みえ環境大賞(環境活動部門)」を受賞している。それに至った経緯が次ページの「環境貢献活動のあゆみ」で説明されているが、このあゆみは確かに「地域との連携による地域目線での取り組み」であり、その精神に基づき、本情報誌も作成されていることが読み取れる。さらに現状に満足することなく、2015 年度のトピックスにある通り、新たな取組にもチャレンジしている。

一方、「環境方針に基づいた取り組み」および「環境保全のための設備」では、しっかりと、かつわかり やすく環境技術面に関して解説しており、工場内外での取組がバランスよく構成された報告書に仕上がっ ている。

株式会社商船三井

商船三井グループ 安全・環境・社会報告書 2016

持続可能な海運の実現に向けて5つの重要課題を掲げ各課題ごとに取組目標とその実績を明瞭に表示し、そのうえで達成状況を評価し、さらに目標を設定していることがよくわかる。CO2を絶対量として大量に排出する産業であることを真摯に見つめ、環境ストレス軽減をビジネスチャンスと前向きに捉えて取り組んでいる。

長期的目標も掲げるとよりよい。

住友電気工業株式会社

CSR 報告書 2016

事業活動における環境リスクと機会を明確に識別した上で、中期計画の設定と運用を行っている様子が明らかになっている。中期の環境目標を明確に設定し、各領域における進捗管理が行われている様子がわかりやすく説明されている。使用するデータについても、第三者検証を受けたものを極力示すように努めている点も評価できる。また、環境保全活動の詳細は同社のバリューチェーンに即して説明されており、上流・下流双方を含めて全体として環境負荷の低減に努めている様子も明らかになっている。

セガサミーホールディングス株式会社 セガサミーグループ CSR レポート 2016

ISO26000、GRI に則り編集を行っている。業態として環境保全の取組メニューは多くないと思われるが、グリーン電力証書の活用による自然エネルギー導入に取り組んでいる点はすばらしい。製品の鉛フリーや長寿命化、手分解によるリサイクルなどの環境配慮設計ができている点も優れており、従業員へCSR報告書を配布し、従業員との協働に活用している点も評価できる。

環境情報の KPI やサイト活動などの情報をさらに充実することが望まれる。

セコム株式会社

セコム株式会社 CSR レポート 2016

経営トップがパリ協定や SDGs などの CSR の潮流を把握し、サステナビリティ経営に反映させる重要性に言及している。「戦略的 CSR」と「基盤的 CSR」という自社の区分に沿ったページ構成や、取組に関連する SDGs のアイコンの表示、専門用語についての丁寧な注記など読者の理解を深める工夫がなされている。

更なる改善の余地として環境情報の充実と連結対象範囲での定量情報の把握・開示が期待される。

株式会社セブン&アイ・ホールディングス

セブン&アイHLDGS. CSR レポート2016

重要な課題を特定し、それらに関する活動と成果を中心に開示している。環境については事業全体の商品、原材料、エネルギーの無駄の削減を行うという、事業に特徴的な取組を展開している。データについても巻末に「データ集」をまとめ、多くの情報を開示している。

取組そのものやデータ開示は先進的な内容ではあるが、今後はもう一歩先の「中長期目標」を設定し、 それに向けた活動を展開していくことで、さらなる先進企業への一歩となる。

大成建設株式会社

TAISEI CORPORATE REPORT 2016

情報の網羅性だけでなく、相互の関連性が多量にも拘わらず、重要性に鑑みたコンパクトな整理がされ、 賞賛に値する。特に、環境関連事業(ZEB達成と展開計画)に関する長期ビジョンはわかりやすい。施工 段階の中長期 CO_2 削減目標として 2020 年 50%減、2050 年 80%減を掲げており、長期目標にコミット している点を評価したい。

サーキュラーエコノミーや SDGs といった国際的な持続可能性課題の潮流にも注意を向けているが、海外事業展開の戦略を考慮すれば、今後は資材合法性や人権配慮の報告などの CSR 調達における国際原則への取組なども必要である。

株式会社ダイセキ

株式会社ダイセキ CSR 報告書 2016

自社製品の使用済廃油を精製・リサイクルしたり、関西事業所における汚泥の埋立量の削減とリサイク ル率の向上を追求して取り組んだ点などがよく書かれている。近隣住民に臭気モニターとして参加しても らっている取組もよい。環境に関するデータが時系列で丁寧に記載されていてわかりやすい。各事業所の 特徴がよく記載されている。

今後は長期目標の設定などに取り組まれるとなおよい。

株式会社ダイセキ環境ソリューション

環境・社会報告書 2016

新入社員が報告書を作成する活動自体が若年世代に対する効果の高いサステナビリティ教育になるので、 奨励したい。事業性質上、地域コミュニケーションに力点を置いた報告に好感を持った。

本業における低炭素社会への取組として BDF 活用は評価したいが、規模が期待できない。より効果的な本業の温暖化対策または資源循環の取組を打ち出せるとよい。また、環境効果が期待できる設備投資は、投資額と導入効果の実績を報告してはどうか。

大日本印刷株式会社

DNP グループ CSR 報告書 2016 DNP グループ 環境報告書 2016

2030 年までの CO_2 削減目標を設定し、主要海外拠点を含めグループ企業全体で Scope3 の取組により削減しており、CDP の A リストに 2 年連続選定されている点、さらに水使用量についても 2020 年までの 2010 年度比 25% 削減のマネジメント目標を海外拠点含めて設定し取組を進めている点など、優れた取組がよく書かれている。 DNP の経営方針、事業内容から CSR の重点項目を整理して実行し、環境報告書を別途まとめており、内容も目標、取組、数値、トピックスを交えて大変わかりやすい編集である。

株式会社タケエイ

タケエイグループ環境・社会報告書 2016

リサイクルの取組について、環境教育などにも使えるほど、わかりやすくまとめられている点が評価できる。オリンピックを見据えた取組も記載されており、時流をとらえている。地産地消バイオマス発電事業による間伐材などの未利用材の活用、発電を通じた地域企業との協働、森林整備による減災や雇用面に貢献している点など「総合環境企業」方針がまとまりよく書かれている。

今後、低炭素社会に係る情報開示の充実および長期目標の設定、データの時系列の情報、マイナス情報 の掲載などの工夫があるとよい。

武田薬品工業株式会社

CSR データブック 2016

マテリアリティの特定に際して DJSI および SDGs を参照し、投資家や社会の要請など幅広い視点を踏まえている点がわかりやすい。グローバルコンパクトの 4 分野の冒頭に「At a Glance」として取組を一枚にまとめているのも全体がわかりよい。また社会的な側面に関して、SDGs やビジネスと人権に関する指導原則など先進的な規範を積極的に取り入れ、海外子会社およびサプライチェーンを含めて取組を実践しているなどわかりやすく書かれている。

一方で、低炭素社会に対する言及が十分とはいえない点、およびコミットメントが明示されていない点 が課題である。

株式会社タムロン CSR 報告書 2016

グローバル・コンパクト参加企業として、主要な課題を網羅しており、海外工場も含めた工場別データ 開示など、限られた紙面の中で読みやすくかつ充実した情報開示を行っている。環境会計をマネジメント システムに関するページに配置し、予算計上額も開示している点にも企業姿勢がうかがわれる。サプライ チェーン構築など、これからの進捗報告が期待される。

株式会社ツムラ

ツムラグループ コーポレートレポート 2016

EMSの構築・運営については、バリューチェーンを含め安定した取組が書かれている。生物多様性の面で、本来業務の生薬希少種の保全と栽培化、遺伝資源の保全、圃場周辺地への生態系配慮と農薬管理など、定性的な報告ではあるが一貫性があり、一層の進展が期待される。

CSR 体制と経済・社会的側面の充実が今後の課題となる。

TDK 株式会社

TDK CSR REPORT 2016

マテリアリティの特定を中心に、エッセンスを絞り込み簡潔にわかりやすく作成されており、取組状況の全体を理解するのに非常によい。トップコミットメントの「多様性を製品・サービスの革新につなげるカ」「従業員一人一人を~」などは、社会課題と経営との関係が明示されており、後半の記載とも相まって、企業としての風土と方向感をよく理解できる記載となっている。環境については 2035 ビジョンもあり、カーボンニュートラルを達成するなど、取組状況も簡潔に理解できる。

一方で、より深い情報ニーズに対しては、情報の充実が期待される側面もある。

東京急行電鉄株式会社

東京急行電鉄 環境報告書 2016

メインである鉄道事業(車両、鉄道施設、駅)において地球温暖化対策を推進し、リユース、リサイクルも積極的に取り組んでいることが具体例を交えて明確に説明されている点が評価できる。環境会計については KPI に基づき経済効果を開示している点が読み手にとってもわかりやすい。一方で、環境パフォーマンスデータの開示範囲が単体中心であり、目標設定も単年度ごとになっていることから、今後はグループとして中長期目標や計画の策定・開示が望まれる。

東京都水道局

東京都水道局 環境報告書 2016

東京都水道局 環境報告書 2016 概要版

莫大な電力を使用する業態であることから温室効果ガス削減に向けて「東京都水道局環境5か年計画2015-2019」を掲げ、同計画の4つの基本方針ごとに目標・実績を鳥瞰できる報告書になっており一丸になって取り組んでいる旨をわかりやすく表現している。環境会計も導入し、効果の可視化に努めている。監査については、「是正・改善が必要」とされた事案の内容について踏み込んで記載するとよりよい。

株式会社東芝

東芝グループ 環境レポート 2016

統合報告で挙げられている自然資本ではあるが、言及自体がまだほとんど見られない中、自然資本の算定と比較可能性の追及にまで切り込んでおり、先進性と独自性が光る。環境会計においても、独自の算定手法でみなし効果金額を計算するなど、環境経営ツールとしての本質的活用が見られる。

株式会社東芝 小向事業所

株式会社東芝 小向事業所 環境報告書 2016

報告書後半(9.コミュニケーション以降)は写真やイラストが多く、また文章もわかりやすいため、近隣住民が読んでも十分に理解できる内容に仕上がっている。そして小向事業所は、住民・行政などの地域社会と積極的な環境コミュニケーションを展開していることも読み取れる。

しかしながら報告書前半は、技術的・専門的内容が一部混在(例:研究開発他)しているため、前記一般読者にとっては難解で、その点の改善や工夫が期待される。環境報告ガイドラインに基づく網羅性に関してはおおむね問題は無いが、内部監査(外部審査)他、いくつかの追加情報も記載されればさらによい。

東芝キヤリア株式会社

東芝キヤリアグループ 社会・環境報告書 2016

環境問題に精通していない読者も興味を持てるよう、特集として一つの環境問題を掘り下げる紙面が個性的である。今年度は環境問題のなかでもなじみが薄く難解な印象がある化学物質を取り上げており、工夫が光った。

ただ、事業との関連づけが見えづらく、取り上げた理由を事業文脈で示してほしいところである。

東洋インキSCホールディングス株式会社 東洋インキグループ CSR 報告書 2016

ISO26000 の中核主題に沿い、人権への取組の先進性をはじめ、熱意が伝わる報告書である。環境教育面でも新入社員教育、CSR 調達、グローバル人材育成などの課題ごとに国内外の社員研修を徹底している。報告書編集に NPO が参画し、工場の地域住民との対話を継続させるなど、国内での CSR 活動の実績を海外グループへと拡げることが期待される。

東レ株式会社

東レグループ CSR レポート 2016

事業活動のすべての側面で CSR を推進し、マテリアリティ評価に基づいて注力分野を選定していることがよくわかる。特に、先端材料開発による CO_2 削減、グリーンイノベーションへの貢献、医療・健康などのライフイノベーションへの貢献など、事業を通じた社会的課題解決に貢献し、その内容がステークホルダーによく伝わる構成となっている。 CSR の取組が社員へ浸透していることもわかる。温室効果ガス排出削減の 2020 年目標が掲げられているが、さらに低炭素社会に向けた対策、再生可能エネルギーの導入などの投資への取組とその記載がほしい。

TOTO 株式会社

TOTO 株式会社 Web ページ 「環境へのとりくみ」

TOTO グローバル環境ビジョンをもとに、環境保全活動を活発に行っており、グローバル環境目標が事業と密接に記載されておりわかりやすい。製品の節水、水浄化の技術的な取組、水環境基金の運用など水環境保全に積極的に取り組んでいることがよくわかる。

今後はぜひ長期ビジョンの策定にも取り組んでいただきたい。

凸版印刷株式会社

CSR レポート 2016

ISO26000、GRI に則り重要性の分析に取り組んでおり、SCOPE3 による把握が行われている点が評価できる。健康を軸に新しい価値創造を推進している点、読者にわかりやすいインデックスデータなどが用いられている点もよい。

今後、循環型社会形成の取組など環境保全に関する記載を充実すること、長期目標 2050 年に向けた方針などの策定が求められる。

成田国際空港株式会社

成田国際空港環境報告書 2016

「エコ・エアポートビジョン 2030」を掲げ中長期的視点で環境に配慮した飛行場の構築を目指していることがよくわかる。グラフ、図が簡易であり一目瞭然である。目標のみならず、直近の目標の達成度合いについても丁寧に報告している。周辺環境への取組は騒音、大気質保全、水質保全にフォーカスし詳細に報告している。社会的側面についても記述があるとよりよい。

南海電気鉄道株式会社

CSR 報告書 2016

社長メッセージの中で環境について実績や具体的な数値目標などを交えた内容になっており、トップのコミットメントの強さが感じられた。また、コア事業である鉄道の重要課題である「安全」については、 方針、体制、具体的な取組が詳細に説明されている点も優れている。

環境についても様々な取組や実績が開示されているが、今後は中長期的な目標や単体ではなくグループ としての取組まで発展することが期待される。

日本製紙株式会社

日本製紙グループ CSR 報告書 2016

持続可能なビジネスモデルとして事業経営戦略と環境戦略が一体化し、バリューチェーンにおける価値 創出フローと社会的課題が描けている。持続的な森林経営が事業の存続・発展の基盤であると位置づけて、 新たに「生物多様性保全に関する基本方針」を策定している。地域貢献におけるステーホルダーとの生物 多様性の取組も数多く、対話の機会を多く設定し、継続している点がすばらしい。2030 年の長期目標の 設定の取組や、石炭火力発電の情報提供も望まれる。 日本通運株式会社 CSR 報告書 2016

マテリアリティの特定プロセスを時系列で開示している点はとてもわかりやすい。ステークホルダーエンゲージメントについてもさまざまな取組事例が紹介されていて、マルチステークホルダーを意識した取組となっていると評価できる。環境に関しては、取組の一貫性が伝わってくるレポートとなっているが、これに今後の方向性や中長期的な目標を事業活動や財務的影響を絡めた情報が開示されるとより明確になると思われる。

日本電信電話株式会社

NTT グループサステナビリティレポート 2016 NTT アニュアルレポート 2016

経営層が、SDGs やパリ協定、経営戦略と CSR 戦略の連携、世界的なバリューチェーン管理などの重要性に言及している。それら国際的動向を受ける形で、地球環境の未来像と自社のありたい姿を示した「NTT グループ環境宣言」ならびに実現への道しるべとしての「環境目標 2030」が策定され、それを実現する方策をわかりやすく説明している。環境目標の一つの柱である気候変動への適応については、同社が想定する気候変動による事業上のリスクと機会を、推定影響額の分析結果も含めて丁寧に説明している。

パナソニック株式会社

サスティナビリティデータブック 2016

非製造拠点も含めたデータの充実度と詳細度とは群を抜いている。報告の体系上、コミットメントは経営戦略など、上位概念の情報は web への別掲載になっているが、1 ページでもよいので概要が欲しいところである。また、2018 年以降に関する長期的目標とロードマップをぜひ示してほしい。

富士フイルムホールディングス株式会社

富士フイルムホールディングス Sustainability Report 2016

重点課題(地球温暖化への対応)に関する取組として、省工ネ機能の高いマルチコピー機を開発し、セブンイレブンと共同でカーボン・オフセットに取り組んだほか、化粧品へのカーボン・オフセット付与を開始した。また SDGs やパリ協定のほか IPCC を踏まえた方向性を示している点で優れている。重点課題の特定に際しては、社会課題に SDGs の観点を加えて見直しを行っている。

一方で、定性的な目標が多いため、年度を設定したうえで定量的な目標の策定が期待される。

ブラザー工業株式会社

環境への取り組み

環境スペシャルサイト brotherearth.com

「愛知目標」の 20 の個別目標のうち、電機電子業界の生物多様性保全行動指針で抽出された貢献が期待できる 8 項目について、ブラザーグループとしてそれにどのように取り組んだかを表形式で個々に詳述しており、「愛知目標」への高い意識がうかがわれる。環境経営を継続的に効率化するための環境会計に関し、詳細な記述があり、わかりやすい。

本田技研工業株式会社

Honda SUSTAINABILITY REPORT 2016

2050年に向けたCO₂削減に関する経営者のコミットメントから始まり、ホンダのサステナビリティ戦略およびそのマネジメントがグローバルにどのように展開されているかが非常によくわかるレポートである。また重要な課題に焦点を当て、その対応方針や取組が豊富なデータとともに報告されている。また環境に関しては別途ウェブサイトで報告されており、その内容も充実している。

株式会社丸井グループ

共創 CSR レポート 2015

共創経営レポート 2016

バリューチェーンの繋がりが非常に深いというビジネスの特徴をふまえ「共に創る」という重要なキー ワードを掲げてさまざまなステークホルダーへの価値を実現していることを一貫して述べている。自社と 社会を俯瞰的に把握した内容になっていると思われる。

主要な環境課題に関する実績だけでなく、中長期的目標、計画などについて具体的な数値をあげて掲載することが望まれる。

三菱樹脂株式会社 平塚工場

2016 環境報告書 三菱樹脂平塚工場

開示情報の網羅性に関しては、「情報の信頼性の確保」の取組もあり模範的なレベルにある。それ以外のサイトレポートの重要な要件は、地域住民他のステークホルダー(地域住民のみならず、地元行政・協力企業・お客様企業など)との双方向のコミュニケーション(例えば「第三者意見」参照)と考える。P.35「地域とのコミュニケーション」他に記載の通り、その取組自体は十分に実施しているので、たとえばステークホルダーの感想やご意見を掲載するなどの工夫により、工場・ステークホルダー双方向のコミュニケーションが「見える化」され、さらによいサイトレポートになるものと思われる。

みやぎ生活協同組合

2015年度 環境活動のまとめ

大企業や製造業とは違う業態・規模でありながら、自社の特徴をとらえ、ステークホルダーである顧客 視点でまとめられているため、わかりやすい報告書となっている。食の安全を中心として、組合員の満足 を追求する取組を進めている。環境については環境配慮商品の普及や再生可能エネルギーの取組を進める など、先進的な取組や、地域と協力した効果的な取組をよく描いている。

今後は目標の設定とその成果を追求していくという取組への発展が期待される。

株式会社ヤクルト本社

ヤクルト CSR レポート 2016

自社が関連する社会課題として、「健康長寿」や「予防医学」を取り上げており、自社の社会的な役割を明確に打ち出している。また、環境の取組については製造拠点のみならず、販売会社、海外拠点を含めた数多くの拠点が外部認証を取得し、データも充実しているところからも、前向きで積極的な姿勢が伺える。レポート全体から、自社の関わるステークホルダーへの気持ちが伝わり、自社の従業員全体への取組へ発展していることが感じられる点で、好感が持てる内容になっている。

取り組む方向性や課題は明確になっているが、それらを目指すための短期的なゴールや、中長期のビジョンが若干不明瞭な印象がある。次回以降、達成年度を明確にした数値を意識した目標を検討などの内容を盛り込むことが望まれる。

株式会社安成工務店

安成工務店グループ CSV レポート 2016

地場中小企業の CSV 報告として優良な報告書である。近くの山の木を用いた家造りや、日本初の家づくりのサプライチェーンとしての CFP 認定取得など、自社を超えた取組や波及効果への高い意識が読み取れる。 さまざまな他社との技術連携による環境対応と価値創造の強化がすばらしく、社会課題と自社の価値をきちんと分析して戦略・施策を伝えている点は秀逸である。地域に根ざして価値提供していることがよくわかる。

次回はガバナンスの説明強化が望まれる。また木材、建材トレーサビリティの視点をグローバルにも広げてほしい。

ライオン株式会社

ライオン CSR 報告書 2016

社会的側面の情報、特に消費者課題に関しては各業務プロセスにおける具体的な課題対応・承認機関などが検討・開示されている点で優れている。また SDGs を踏まえた中期経営計画を策定しているなど、先進的な規範を考慮している点、コミュニティへの参画プログラムが同社の本業を生かした内容であり、KPIを極力積極的に開示している点で優れている。

一方で、コミットメントの中で KPI が明示されているとは言えない点が課題である。

レンゴー株式会社

環境・社会報告書 2016

2050年に向けた目標を掲げ、それを実現するための2030年目標を定めて取り組んでいること、Scope3 の算定を行っていることなど優れた取組がわかりやすく書かれている。従業員座談会の開催、CSR 報告書を従業員全員に配布して自社の取組のCSR 教育に活用している点、浸透を図っていることが読み取れる。

すべての製紙、段ボール、紙器工場で FSC 森林認証を取得し、そのシステムの普及に取り組んでいる点、 他社とコラボレーションして記載するなどより強調してアピールするとなおよい。

ローム株式会社

ROHM Group Innovation Report 2016

製品品質、経営品質に大きく分け、製品品質において3つの ECO をとりあげてレポートを構成。ECO の中には環境のみならず安心・安全なども含まれ、製品を通じた社会課題の解決を簡潔にわかりやすく記載している。

しかしながら、今回は環境データブックの添付がなかったため、3つの ECO の取組の度合いを評価するための指標や実績情報が読み取れないこと、また、簡潔な記載であるがゆえに、内容に深みが出しづらいのか、自社のCSR に対する強いスタンスを読み取ることができなかったことが課題である。

環境活動レポート部門

大嘗 (環境大臣賞)

来ハトメ工業株式会社

環境活動レポート 2016 年版

文書番号 D-8

環境活動レポート 2016年版

〈2015年3月1日~2016年2月29日〉

※ハトメ工業株式会社





社員の顔と活動が具体的にわかりやすく記載されており、長年社員全員が一丸となって取り組んでいることが随所にうかがえる。環境活動計画も責任者が明確になっており、具体的な施策を講じていることがわかる内容である。目標項目ごとに経年の経過、総量と原単位がグラフで示され、分析・評価も詳細でわかりやすい。1項目1ページに配され、写真・図を用いて読み手に理解しやすい構成になっており、情報開示レベルが極めて高い。また、パリ協定や日本の約束草案を意識した環境目標の策定計画、生物多様性条約に対応した環境教育など、世界規模の環境の動向を意識した姿勢も極めて高く評価できる。

数値と客観性だけでなく、社員の声が随所に記載され、人間味が伝わる環境活動レポートである。環境人材の育成に力を入れていること、従業員の環境意識の醸成が会社全体の環境への取組を推進していることがよくわかる、すばらしいレポートである。





(6)

優秀賞(地球・人間環境フォーラム理事長賞)

大鐘測量設計株式会社

42 期工コアクション 21 環境活動レポート

測量・設計業務を主な事業としているコンサルタント会社である。独自の取組で災害発生時に備え BCM に着手するなど、本業と絡めた取組の充実さが高く評価できる。各環境活動における担当者を記載するだけでなく、次期における責任者もあわせて掲載している。全体評価と見直しの結果についても、代表者自らが自分の言葉で書いており、組織全体が取組を行う上でのトップのコミットメントの重要性を感じることができる内容となっている。

環境目標とその実績の記載においては、上段に赤字で結果を1行で記載しているため、わかりやすい内容となっている。グラフや担当者のコメントを活用するなど、読み手に配慮した工夫は他社の手本となる。

九州林産株式会社

環境活動レポート 2016

従業員 103 名の森林管理・緑化事業を中心とする事業者である。緑豊かな環境づくりビジネスモデルはわかりやすい。基盤となる生物多様性への取組はユニークかつ先進的な活動であり、2019 年までの目標設定はすばらしいアピールポイントである。

また、マテリアルバランス、環境会計の記載は環境活動を定量的に評価しており、同業他社の環境活動のヒントになりうる。公園農園において、地域住民や地場企業、教育関係者および自治体を含めて行っている環境教育は、大きな波及効果を生む取組として高く評価できる。昨年度「九電みらい財団」を設立しており、さらに活動を広げていくことについて経営層のリーダーシップおよび積極的な活動がうかがえる。全体的に非常に読みやすく、読み手の読みやすさを意識した完成度の高い環境活動レポートとなっている。

センテック株式会社

2015年度 環境活動レポート

工業用のビデオカメラ、センサーを応用した電子機器の開発・製造・販売を行っている従業員 50 名の 事業者である。業務に即したきめ細かい目標設定や、環境配慮型の製品開発を目標にするなど、経営者を はじめ全員が真摯に環境活動に取り組んでいることが感じられる環境活動レポートである。

エコアクション 21 の取組開始から 4 年が経過しているが、全体として着実に成果をあげており、レポートは表・グラフを使ってわかりやすく作られている。特に、取組結果については CO_2 排出量の削減や電力使用量の削減などの項目ごとに 1 ページにまとめられているとともに、各ページに啓発的な情報が掲載されており、読み手への教育の工夫もなされている。

今後は地域貢献など、地域社会を意識した取組などにも環境活動の幅を広げることを期待したい。

株式会社 DINS 堺

株式会社 DINS 堺 環境活動レポート 2016

産業廃棄物の収集運搬および産業廃棄物・一般廃棄物の中間処理を行っている事業者である。建設廃棄物のリサイクル、廃木材からのバイオエタノール化を手がけており、リサイクル率の向上、処理設備の電力消費量や重油・軽油の使用量の削減など、本業に関わる環境目標を掲げた取組を積極的に行っている。環境活動レポートは全体的に図や写真などをバランスよく配置し、要所に解説を入れて、大変読みやすく工夫されている。特に「環境活動計画の取組結果とその評価」は、目標と実績が一目でわかるようなレイアウトで記載されており、各目標について担当者のコメントもあり、PDCAが機能していることが読み取れる。また、「環境ラリー」を使った全員参加型環境活動の推進を環境目標として定めており、組織的に

廣間組有限会社

楽しみながら取り組んでいることがうかがえる。

環境活動レポート ~環境への恩返し~

従業員 18 名の小規模な土木建設工事会社である。写真やイラストが非常にわかりやすく整理されており、図表の使用は読者の理解度の向上につながっている。環境目標の実績および達成率の表記、3 年間の実績推移グラフ、平成 30 年度までの目標設定などが優れており、グリーン購入は337.5%、その他項目はすべて100%以上達成したことも高く評価できる。

ホームページやフェイスブックなどのソーシャル・ネットワーキング・サービスにおける発信は、同業 他社の環境活動の参考にもなりえる。環境配慮商品の開発、山櫻プロジェクト(生物多様性)の推進、地域 コミュニティとのつながりなど、社内外の関係者参加で取り組もうとする姿勢も評価できる。

全体的に、読者が読みやすいように工夫されたレベルの高い環境活動レポートとなっている。

優良賞

海部地区環境事務組合

エコアクション 21 環境活動レポート

愛知県津島市ほか3市2町1村で構成される一部事務組合で、一般廃棄物の焼却処理、し尿処理を行っている。廃棄物排出量、水使用量やCO₂排出量の削減について、管理する処理施設ごとに目標値と実績値を管理し、処理施設に省工ネ設備を導入するなど、積極的な取組を行っている。

環境活動レポートは、イメージキャラクターのハッポくんが解説する形で、わかりやすく記載されており、また、市民・子ども向けの「八穂環境学習教室」を毎月開催するなど、市民とのコミュニケーション 意欲が見て取れる。全体的に読者に対する読みやすさを意識した、読みやすいレポートとなっている。

今後は廃棄物焼却などの運転に伴う環境負荷に関わる目標の設定など、本業に関する取組の充実を期待したい。

上島珈琲貿易株式会社

2016 年度 環境活動レポート

コーヒーの焙煎、加工、販売を行っている事業者である。1 ページ 1 テーマとし、そのページで何を伝えるのかの意図が明確であり、わかりやすい構成となっている。写真・図を利用し、伝えたいことはしっかり伝え、読みやすいように工夫をしている。

食品リサイクル率の向上のため、不良品発生抑制、不良在庫発生抑制、生産ロスの防止などの目標を設定していること、品質管理に関連し異物混入防止を目標としていること、グリーン購入も文房具だけでなく珈琲の買い付けまで考慮していることなどの取組は高く評価できる。とくに、環境配慮製品として有機コーヒーの販売を行い、販売数を着実に伸ばしていることは他社の模範となる取組である。7年間の環境パフォーマンスを掲載しており、長期的な改善効果が出ていることも明瞭である。金額換算の数値の記載もあり、全体的に経営と一体化した優れた環境活動であることがわかる。

株式会社宇部セントラルコンサルタント エコアクション 21 環境活動レポート

測量や地質調査を主業務としているコンサルタント会社である。写真が豊富で、取組が読み手に伝わる 工夫がなされている。取組結果の評価では、グラフとともにイラストなどを活用して、結果の評価ととも に分析を行っており、次年度に向けた課題がよくわかる点も高く評価できる。

室外機の日よけの設置、空調機フィルターの定期清掃など、細かな取組の積み重ねや、一時間当たりの CO2 排出量を掲載するなど、単に前年度比較だけではわからない部分についても記載している。特徴の一つとして社外における環境活動の記載が豊富であり、写真とともに活動を詳細に報告していることは高く評価できる。同業他社の参考になるレポートとなっており、今後も期待したい。

株式会社エステック 21

エコアクション 21 環境活動レポート(2014年度)

工業用オイルのろ過装置の販売などを行っている事業者である。環境方針にLCA 視点や4Sを含め環境と経営を結び付けた活動になっていることがよくわかるレポートである。目標に対しての増加要因分析を行い、その結果を環境活動計画に反映した仕組みになっていることも優れている。

レポートとしては、絵や表・写真を必要と思われる箇所に活用され見やすくわかりやすい内容になっている。読者に対し、自らの活動内容のアピールと、読者が同様の施策を活用できるかを掲載するなど、読者の気を引く仕掛けが工夫されているレポートとなっている。

運用管理(維持管理)と向上を目指す目標を切り分け、環境活動を実践していること、特に本業をベースとした情報開示活動に力を入れ活発に取り組まれている点も高く評価できる。

学校法人有馬学園 認定こども園 高津幼稚園

環境活動レポート

認定こども園の環境活動レポートである。本業である幼稚園教育を環境方針や目標に盛り込んでおり、 環境活動に対する積極性が感じられる。目標達成におけるパーセンテージによる達成度の明記や、目標を 達成するための手段が明確になっている。また、目標の未達成項目を明確にしたうえで今後の取組の展開 方法を考えているため、マネジメントシステムとして順調に機能しており、レポート内でもそれがうかが える。

絵や表・写真を活用し、読者に対するわかりやすさを重視している工夫が随所に見られ、ステークホル ダーの絞り込みや、園児と一体化したレポートとなっている点が高く評価できる。

株式会社河原工房

株式会社河原工房 2015 年度環境活動レポート

建築一般、リフォーム工事などを行っている従業員数 11 名の事業者である。環境活動レポートはその内容がよく整理されており、随所にグラフや写真が多用され、また読者を意識した表現方法の工夫により、わかりやすいものとなっている。特に、CO2削減効果の高かった取組事例として車載機のデータ活用事例、グリーン購入の購入実績数(209 個の事務用品中 114 件がグリーン購入)などの掲載から、取組の「見える化」に積極的に取り組んでいることがうかがえる。

さらに、事業活動において実施している様々なエコリフォームの提案や、社会貢献として実施している 古民家再生活動から拡がるエコの輪の取組なども高く評価できるポイントである。

5. 受賞作品講評

共和アスコン株式会社

環境活動レポート平成 27(2015)年度版

アスファルト・コンクリート・ガラスくずの収集運搬と中間処理およびアスファルト合材・生コンの製造・販売を事業としている事業者である。グラフは折れ線グラフ、棒グラフ、円グラフを使い分け、表も色分けするなど、読みやすく、理解しやすい工夫がされている。挿絵を入れたり、産業廃棄物業に関わる記載事項を最後に持ってきたり、読み手を飽きさせない心遣いを感じさせる内容となっている。

次年度の取組内容はサイトごとに実施時期を含めて記載され、また、中長期の目標は4年間の目標がサイトごとに記載され、中長期にわたって意欲的に取り組む姿勢がうかがえる。環境活動レポートの発行回数がわかるように発行号数が記載されているのは珍しい。

株式会社 KDP

環境活動レポート 2015

大阪を地盤として人材派遣業を行っている従業員約 40 名の事業者である。人材を扱う事業者だけに環境活動レポートの中には社員の顔写真が数多く掲載されており、社員に役割を意識させて環境活動を推進しようとしていることが感じられる。

環境目標と実績は表とグラフによりわかりやすく掲載されており、成果もあげている。また、様々な取組事例が図や写真を用いて紹介されている。代表者による評価と見直しにおける具体的な指摘も適切であり、経営トップが環境活動に積極的に関与していることがわかる。

株式会社神戸ポートリサイクル 環境活動レポート 2016 株式会社神戸ポートリサイクル

産業廃棄物収集運搬および中間処理を業務とする産業廃棄物事業者である。平成 28 年 1 月に認証取得 しており、エコアクション 21 の取組期間はまだ長くないが、ページ構成、図と表の工夫などが読みやす く、わかりやすい内容にまとめている。

各目標について、取組計画、目標と実績、取組の写真、評価と今後の取組がコンパクトにまとめられている点も工夫が見られる。環境活動の紹介コーナーでは、大型の「環境かわら版」を設置し、担当者ごとの目標の進捗状況やスケジュール、目標と実績のグラフなどを掲載しており、全員参加で取り組む姿勢がうかがえる。代表者による全体の評価と見直し、編集後記にも環境に取り組む思いが伝わってくる内容となっている。

光洋電器工業株式会社

エコアクション 21 環境活動レポート 第9版

がいしや自動点滅器、防犯街路灯などの製造販売を行っている事業者である。環境目標の項目ごとに、目標(P)・実績(D)・評価(C)・次年度取組(A)がコンパクトに要領よく整理されており、グラフや表を使用し、わかりやすく読みやすい環境活動レポートとなっている。2015年度の新たな活動や実績が追加され、改善活動を常に向上させている点も評価できる。全体的に、目標値に対して達成することを重視し、パフォーマンスの向上を意識していることがうかがえる。

省工ネにつながる製品改良、廃棄がいしの再資源化、さらには物流や通勤といったスコープ 3 領域での活動など、自社管理施設内での環境負荷削減にとどまらない、積極的な環境活動に取り組んでいる様子がよくわかるレポートとなっている。一方で、そのための代表者の評価と見直しがさらに具体的であると、よりよい内容となる。

株式会社坂口製作所

環境活動レポート ~未来のこどもたちのために~

データと事例中心にまとめられた環境活動レポートである。データ(環境負荷の実績)については、4 年間の推移と当年度の月別の推移がグラフ化されている。未達成の目標も見られるが、的確な要因分析が行われていることが評価できる。目標水準の妥当性検証と環境活動の内容・徹底度の見直しの両面から、目標達成度の向上を図ることが望まれる。

事例については、写真と端的な説明で、活動の特徴と成果がわかりやすく示されている。工程や環境負荷の発生原因についての記載、環境活動計画の全体像が示されると、それぞれの環境活動の意図が、よりわかりやすくなる。

有限会社山栄電子

環境活動レポート 平成 27 年度版

プリント板の改修作業、金融機器のリペア作業などを行なっている事業者である。全体として見やすさに配慮された統一性の感じられるレイアウトで、各取組内容が、PDCAのフレームに沿って記述されている。各環境活動の取組は、担当者が明確になっており、全社一丸となって、具体的に推進されていることがよくわかる内容となっている。環境目標は項目ごとに、実績とまとめの欄の顔の表情のアイコンによる表示があることで、一目で目標達成・未達を理解することができる。環境法規制遵守の状況もチェック方法が具体的でわかりやすい。

本業が環境への取組そのものである点を意識し、3R(リユース、リデュース、リサイクル)にリペアとリフューズを加えた「5R」を掲げ、循環型社会に重点を置いた活動になっている。特に改修・リペア業務では、5R活動が事業活動そのものに組み込まれ、遂行されている点は高く評価できる。

株式会社 GE (大栄環境グループ)

環境活動レポート 2016

産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の収集運搬および中間処理を行う事業者で、マテリアルリサイクル、 サーマルリサイクルなど廃棄物の有効利用に取り組んでいる。環境活動レポート委員会を設置し、意欲的 に環境活動レポートの充実に取り組んでいることもあり、読み手にとって大変読みやすいように編集され ている。

目標ごとに、活動の紹介写真とともに、担当者の顔写真とコメントがあり、会社をあげて取り組む姿に 親しみが持てる内容となっている。内部および外部コミュニケーションに関する情報や環境教育・訓練の 様子を掲載しており、積極的にレポートを利害関係者への情報発信に活用されていることがうかがえる。

滋賀シミズ精工株式会社

環境活動レポート 2016 年度版

金型の設計・加工、金属製品および樹脂製品の製造、販売を行なっている事業者である。全体にソフト な印象で、読みやすくコンパクトにまとめられた環境活動レポートである。

冒頭の事業内容・工場案内にページを割いて、製品・場内の様子を記載しているため、以降の記載内容 を理解する助けとなる。環境への取組内容(環境活動計画の内容)についても、写真を多用し、要領よくま とめられている。

実績データは2010年から経年変化がわかるようにグラフ化しており、多くの目標が達成されていることや、それが原単位の削減努力による総量削減によって実現されていることがひと目でわかる。

エコアクション認証登録から 10 年近く経過するが、着実に継続的改善が図られている成果がよくうかがえる。

株式会社シュガーアンドスパイス

2015 年 Sugar&Spice 環境活動レポート

子どもモデル、タレントのモデルマネジメント、広告企画制作を行なっている事業者である。事業の特殊性を活かしたエコトレの実施などの取組が高く評価できる。環境に配慮した取組では事務所のレイアウトなどを記載しており、どのような取組をしているのかが読み手にわかりやすいレポートになっている。それに加え、グラフやアイコンを使い、読者にわかりやすい表示となるよう工夫を行っている。

特徴を生かした取組について、現在は売上高を目標値に設定しているが、受注件数が増えていることや、 受注している業種に隔たりがあることを踏まえて、目標値の設定のあり方について検討することも考えられる。

白鷺電気工業株式会社 人、くらし、エネルギー。白鷺電気工業株式会社 環境活動レポート

電機工事、再生可能エネルギー関連事業を行っている事業者である。環境活動レポートはコンパクトに 内容が整理されており、随所にグラフや写真が使用されるだけでなく、配置にも工夫がなされており、わ かりやすい内容となっている。また、環境活動を四季ごとや、各部ごとに紹介し、さらに各部の担当者の コメントを掲載するなど、社員一丸となって取り組んでいることがうかがえる点は高く評価ができる。

さらに、GPS 車載端末によるエコドライブ講習会の実施、生物多様性(グリーンカーテン、雑草の活用など)への取組、社会貢献活動(清掃作業、植林、見学の受け入れなど)の実施、再生可能エネルギー(太陽光発電)事業への取組を行っている点も高く評価できる。

新日本カレンダー株式会社 三田工場及び配送センター 2015 年度環境活動レポート

全体のボリュームと、記載の詳細さから、きめ細かい環境への配慮を着実に取り組んでいる様子がよくわかる。サイトごとに独自のきめ細やかな取組を実施しており、活動項目ごとの写真や日付などの記載からエコアクション21の取組に関する記録や計測に対する意識の高さをうかがうことができる。また、長期的な環境負荷の推移がグラフで示され、累積での負荷削減の大きさが一目でわかるようにしていることも、環境パフォーマンスを重視していることのあらわれとなっている。環境管理事務局の活動内容と評価から、サイトが複数あっても、推進体制がきちんと機能していることがよく理解できる。

本業に直接関連する環境配慮型製品開発・生産では、再生材料使用品のアイテム数を目標に掲げており、 エコマーク骨・ECF・森林認証紙・間伐材使用などの積極的な取組を行っている点も高く評価できる。継続して取り組んでいくことを大いに期待したい。

静清信用金庫

環境活動レポート 2016

同金庫は役職員 730 名の地域金融機関である。全体として、環境目標、活動内容、実績について表を使ってわかりやすく表現している環境活動レポートとなっている。

このレポートの特徴は環境に配慮した金融商品の説明と、地域社会の環境保全に貢献する活動の紹介に多くのページを割いている点である。例えば、寄付金付きの定期預金「地域応援団」(預金総額の 0.01%を静岡県地球温暖化防止活動推進センターに寄付する商品)や同金庫の「グリーン表彰制度」に参加した各支店のユニークな取組などが紹介されている。

取組結果として毎月の実績値とともにその推移が折れ線グラフで記載されているが、読み手としては経 年の変化により関心があるので、この点の改善を期待したい。

5. 受賞作品講評

株式会社セリタ建設

株式会社セリタ建設 環境レポート 2015

従業員 30 名の土木事業や地盤改良工事を中心とする事業者である。事業者と現場を分けて環境活動計画を作成したことや、役割分担が明確な実施体制は高く評価できる。環境目標と実績はグラフ化され、写真を加えた活動取組は読者に親しみやすい内容となる。ただし、達成していない項目について、より長期的な視点を含む工夫された目標設定が望まれる。

環境配慮型工法の提案は21件、森林保全活動は21件、環境商品の販売は80個に達したことは、ユニークな取組として特筆される。各種環境関連コンテストで表彰されていること、カーボン・オフセット展示館に出展されていることにより、環境コミュニケーションに対して積極的に取り組む姿勢がうかがえることも高く評価できる。

株式会社中西 環境活動レポート

一般廃棄物および産業廃棄物の収集運搬、容器包装プラスチック類および廃プラスチックの中間処理・ 資源化を事業としている事業者である。全般にシンプルかつ簡潔に読みやすくまとめられている。各目標 に環境方針で宣言した内容が記載されており、環境方針が環境目標にどのように展開されているかがわか る。CO₂排出量については、消費エネルギー別割合を円グラフで紹介しており、一目で構成がわかるよう に工夫されている。

過去の取組を時系列で紹介しており、たゆまぬ改善活動を行ってきたことが読者に伝わって内容となっている。社会貢献活動として、環境活動レポートを関係する自治体に配布するなどレポートの有効活用に も取り組んでいることも評価できる。

西岡化建株式会社

2016年度 環境活動レポート

防水工事、防食工事などを行っている従業員数 28 名の事業者である。環境活動レポートはコンパクトにその内容がよく整理され、写真を有効に使いわかりやすいものとなっている。また、環境目標の中期目標を毎年設定している点(昨年度は 2017 年度、今年度は 2018 年度まで設定)、評価と次年度の取組内容や環境施工事例をわかりやすく解説している点、環境施行事例については環境配慮のポイントを解説している点は高く評価ができるものである。

さらに、3Rの取組、生物多様性保全(野菜の無農薬有機栽培、緑化、周囲の花の育成など)の取組、地域の緑化活動への参加などの取組を行っている点も高く評価できる。

福井環境事業株式会社

福井環境事業株式会社 環境活動レポート 2015 年度

一般廃棄物・産業廃棄物の収集運搬、廃プラスチックの再資源化から浄化槽の清掃・維持管理やビルの管理清掃まで幅広い事業を手掛けている事業者である。電力消費量や燃料消費量は、廃棄物の収集運搬量や中間処理量あたりの原単位レベルで詳細に管理しており、本業に関する取組内容にも力を入れていることがうかがえる。

また、処理施設からの大気・水質などの条例規制値、自主管理地、測定実績値を記載していることや、 廃プラスチックの再生施設の処理フローがわかりやすく記載されており、利害関係者とのコミュニケーション意欲が見て取れる。

株式会社フジヤマ

エコアクション 21 環境活動レポート 2015

都市計画、測量、設計などを行う建設総合コンサルタントである。残業時間の短縮や、低燃費車への転換、業務などでの環境保全に配慮した提案など、本業を通じた CO₂ 排出の削減努力がよくわかるレポートである。特に、省資源を可能とする製品、技術の提案や廃棄物の抑制を図る技術の提案などの、環境保全に配慮した提案の件数を記載しており、昨年度と比較して 2 倍増と、取組の成果もうかがえる。

環境保全活動では、地域の希少生物保全の取組を推進するなど、多岐にわたる環境活動についても評価できる。CSR活動の紹介では写真で内容をわかりやすく説明しており、内容も充実している。廃棄物の削減など、従業員が一丸となって協力して取り組む必要のある項目において、オリジナリティのある創意工夫が見られることを今後は期待したい。

株式会社北陽商会

環境活動レポート"地球と仲良し"【Vol.12】

自動車販売、自動車整備などを行っている事業者である。環境活動レポートは A5 サイズとコンパクトだが、平成 18 年からの環境負荷データ、5 年間の環境目標、年度の環境目標の達成状況などがグラフ、イラストを使いわかりやすく整理されている。社員の取り組むべき具体的な行動として、「今年度の取組内容 30 項目」をまとめており、社員一人ひとりが環境活動に参加していることがうかがえる。

サービスの環境目標としてエコ整備、リサイクル部品販売をあげており、自動車整備業として本業と一体化した取り組みとなっている。レポートの最初に代表からのパリ協定に関連したメッセージあり、また代表者の見直しは具体的な指示がされ、トップがエコアクション 21 に十分にコミットしていることがわかる。本年度は、リオの地球サミットにおけるセヴァン・カリス=スズキのスピーチを全文掲載しており、自分達が得たことをレポートで伝えようという意欲を感じる。

株式会社みやま

第53期環境活動レポート

プラスチックの射出・成形を主な事業としている事業者である。「はじめに」において、世界を視野に入れたビジョンと高い技術力による経営の発展を目指す事業者として、エコアクション 21 に取り組む理由と、経営における環境活動の位置づけが明確に示されている。

基本的に売上高原単位での環境目標設定となっており、過去3年間の推移がグラフで、目標達成・未達成が〇×でわかりやすく示されている。原単位の増減要因として、分子指標である環境負荷データと、分母指標である売上高の、それぞれの寄与度がどうであったかなど、踏み込んだ分析が示されるとよりよい内容となる。

環境活動計画の内容をみると、経営数値、人事評価、営業活動、品質、段取り時間など、経営・生産活動と連動・一体化した取組が行われていることがよくわかる。

株式会社弥生石油店

エコアクション 21 環境活動レポート 2014年 12月~2015年 11月

石油製品の卸、小売りを行っている事業者である。環境スクラップとして、当社の環境に関連する話題を新聞のスクラップ風に整理している。電力量削減などの環境改善テーマを状況に応じ、PDCA サイクル順に整理し、さらに NEXT PLAN として次年度の計画も掲載している。これらを1枚1テーマでまとめ、図、写真を多用し、わかりやすく、見て楽しい環境活動レポートに仕上がっている。

レポートの作者が楽しみながら作成していること、コミュニケーションへの意欲が高いことが伝わってくる。活動内容は、自らの環境負荷を改善するだけでなく、本業に関連し潤滑油のコンサルティング販売、環境配慮型石油製品(添加剤、オイル)の販売も積極的に取り組んでおり、取組による成果もあげている。なお、レポート自体の環境配慮として両面印刷することが望まれる。

6.審查委員

(審査委員長・座長除く50音順、敬称略)

環境報告書・環境活動レポート部門 審査委員

八木 裕之 横浜国立大学大学院国際社会科学研究院 教授【審査委員長】

奥山 祐矢 環境省総合環境政策局 環境経済課長

小澤 ひろこ 国際統合報告評議会 (IIRC) 日本事務局

岸上 恵子 日本公認会計士協会 常務理事

上妻 義直 上智大学経済学部 教授

後藤 敏彦 環境監査研究会 代表幹事

佐藤 泉 弁護士

寺田 良二 一般社団法人サステナビリティ情報審査協会 副会長

藤村 コノヱ NPO 法人環境文明 2 1 共同代表

森下 研 一般財団法人持続性推進機構 専務理事

6. 審查委員

環境報告書部門 ワーキンググループ委員

粟野 美佳子 一般社団法人 SusCon 代表理事

猪刈 正利 株式会社インターリスク総研 事業リスクマネジメント部環境・社会グループ

シニアマネジャー・上席コンサルタント

大森明横浜国立大学大学院国際社会科学研究院・経営学部教授

奥野 麻衣子 三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社 環境・エネルギー部

副主任研究員

尾山 優子 一般社団法人環境パートナーシップ会議 パートナーシッププロデュース部 理事

春日 秀文 春日法律事務所 弁護士

鹿住 貴之 認定 NPO 法人 JUON(樹恩)NETWORK 理事・事務局長

上野川 智子 一般財団法人地球・人間環境フォーラム 理事・事務局長

川村 雅彦 オルタナ総研 所長/首席研究員

阪野 朋子 NPO 法人サスティナビリティ日本フォーラム 事務局 次長

田原 英俊 PwC あらた有限責任監査法人 サステナビリティ・サービス シニアマネージャー

塚本 奈穂子 有限責任監査法人トーマツ ESG・統合報告アドバイザリー マネジャー

鶴田 佳史 大東文化大学 環境創造学部 准教授

中山 育美 一般財団法人日本環境衛生センター 環境工学部調査課 主任

根村 玲子 公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会 環境委員会

播野 直美 KPMG あずさサステナビリティ株式会社 シニア

藤原 千悦子 環境省 総合環境政策局環境経済課 環境専門調査員

三樹 尚子 ミキオフィス 代表

葎嶋 真理 オフィスむぐらじま SRI アナリスト

村上 智美 みずほ情報総研株式会社 環境エネルギー第2部 シニアコンサルタント

森田 了介 UA ゼンセン 政策・労働条件局 常任中央執行委員

吉岡 亜友子 新日本有限責任監査法人 アカウンティングソリューション事業部

後藤 敏彦 環境監査研究会 代表幹事【座長(コーディネーター)】

環境活動レポート部門 ワーキンググループ委員

宇田 吉明 宇田環境経営研究所 代表

黒柳 要次 株式会社パデセア 代表取締役

瀬尾 隆史 公益社団法人日本環境教育フォーラム 理事・事務局長

立花 丈美 アスクル株式会社 CSR 推進

田中 浩二 一般社団法人サステナビリティ情報審査協会 事務局長

e.s.feed 株式会社 代表取締役

張 苗淼 新日本有限責任監査法人 気候変動・サステナビリティサービス

西原 弘 有限会社サステイナブル・デザイン研究所 取締役社長

平田 裕之 一般社団法人 環境パートナーシップ会議パートナーシッププロデュース部 部長

二見 亘 環境省 総合環境政策局 環境経済課 環境専門調査員

松岡 夏子 三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング 環境エネルギー部 副主任研究員

森下 研 一般財団法人持続性推進機構 専務理事

奥 真美 公立大学法人首都大学東京 都市教養学部都市政策コース 教授【座長(コーディネーター)】

7.応募団体一覧

環境報告書部門

アースサポート株式会社 株式会社岡村製作所 旭化成ホームズ株式会社 沖電気工業株式会社

朝日工業株式会社 花王株式会社

味の素株式会社カルソニックカンセイ株式会社

アズビル株式会社 カルビー株式会社

荒川化学工業株式会社
独立行政法人環境再生保全機構

株式会社アレフ 関西電力株式会社 アンリツ株式会社 キヤノン株式会社 飯野海運株式会社 九州電力株式会社 イーグル工業株式会社 共同印刷株式会社 イオン株式会社 京都生活協同組合

イオンモール株式会社
国立大学法人京都大学

石塚硝子株式会社キリンホールディングス株式会社

いすゞ自動車株式会社

近鉄グループホールディングス株式会社

井関農機株式会社グッドホールディングス株式会社

株式会社イトーキ 株式会社クボタ

株式会社伊藤園 国立大学法人熊本大学 伊藤忠商事株式会社 呉羽テック株式会社

株式会社イムラ封筒 KDDI 株式会社

国立大学法人岩手大学 ケイミュー株式会社 ウシオ電機株式会社 株式会社

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構

エス・エヌ・ケー・テクノ株式会社 株式会社神戸製鋼所 SG ホールディングス株式会社 国立大学法人神戸大学

エスペック株式会社 広友ホールディングス株式会社

株式会社エヌ・ティ・ティ・データ
国際石油開発帝石株式会社

国立大学法人愛媛大学コクヨ株式会社

MS&AD インシュアランスグループ コニカミノルタ株式会社

大阪いずみ市民生活協同組合株式会社小松製作所

大阪ガス株式会社 株式会社札幌ドーム

公立大学法人大阪府立大学
サッポロホールディングス株式会社

サラヤ株式会社 積水ハウス株式会社

国立研究開発法人産業技術総合研究所セコム株式会社

三洋化成工業株式会社 株式会社セブン&アイ・ホールディングス

三和酒類株式会社センコー株式会社

JFE プラリソース株式会社 SOM POホールディングス株式会社

JFE ホールディングス ダイキン工業株式会社

株式会社滋賀銀行 大成建設株式会社

国立大学法人静岡大学 大日本印刷株式会社

シスメックス株式会社 株式会社ダイフク

株式会社島津製作所 太平洋セメント株式会社

清水建設株式会社 大豊工業株式会社

シャープ株式会社 葛城事業所 株式会社ダイセキ環境ソリューション

シャープ株式会社 亀山工場 株式会社ダイセキ

シャープ株式会社 奈良事業所 大和ハウス工業株式会社

シャープ株式会社 三重工場 タキロン株式会社

株式会社ジャパンセミコンダクター株式会社タケエイ

株式会社ジャパンビバレッジホールディングス 武田薬品工業株式会社

首都圏新都市鉄道株式会社 株式会社ダスキン

昭和電エセラミックス株式会社 田辺三菱製薬株式会社

株式会社商船三井 株式会社タムロン

昭和電線ホールディングス株式会社
国立大学法人千葉大学

信越化学工業株式会社中越パルプ工業株式会社

信越ポリマー株式会社中国電力株式会社

国立大学法人信州大学 株式会社中特ホールディングス

新日鐵住金株式会社中部国際空港株式会社

住友大阪セメント株式会社 株式会社ツムラ

住友化学株式会社 株式会社 T&D ホールディングス

住友電気工業株式会社 独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構

住友電装株式会社 東亜建設工業株式会社 住友林業株式会社 東京応化工業株式会社

セイコーエプソン株式会社東京ガス株式会社

セガサミーホールディングス株式会社東京海上ホールディングス株式会社

7. 応募団体一覧

TOTO 株式会社

東京急行電鉄株式会社 パナソニック株式会社 東京都水道局 パナホーム株式会社

株式会社東芝 国立大学法人浜松医科大学 東芝キヤリア株式会社 ハリマ化成グループ株式会社

株式会社東芝 小向事業所 株式会社バンダイナムコホールディングス

東芝 ストレージ&デバイスソリューション社 姫路半導体工場 東日本高速道路株式会社 国立大学法人東北大学 東日本電信電話株式会社

東北電力株式会社日立工機株式会社東洋インキ SC ホールディングス株式会社株式会社日立製作所東洋製罐株式会社ヒューリック株式会社東レ株式会社株式会社フジクラ

戸田建設株式会社 富士ゼロックス株式会社

凸版印刷株式会社 富士通株式会社 株式会社豊田自動織機 富士電機株式会社

トヨタ自動車株式会社 富士フイルムホールディングス株式会社

富士重工業株式会社

日清食品ホールディングス株式会社 株式会社北洋銀行

日本軽金属ホールディングス株式会社本田技研工業株式会社

日本精工株式会社マツダ株式会社

日本製紙株式会社 株式会社丸井グループ 日本製粉株式会社 国立大学法人三重大学 日本通運株式会社 独立行政法人水資源機構

日本電信電話株式会社 株式会社ミダック

 日本特殊陶業株式会社
 三井住友建設株式会社

 日本ハム株式会社
 三井物産株式会社

 日本郵船株式会社
 三井化学株式会社

日本コカ・コーラ株式会社 三菱樹脂株式会社 長浜工場・浅井工場

一般財団法人日本品質保証機構 三菱樹脂株式会社 平塚工場 日本山村硝子株式会社 三菱UFJリース株式会社

株式会社野村総合研究所
みやぎ生活協同組合

森永乳業株式会社

株式会社ヤクルト本社

矢崎総業株式会社

株式会社安成工務店

ヤマトホールディングス株式会社

国立大学法人横浜国立大学

横浜ゴム株式会社

ライオン株式会社

理想科学工業株式会社

ルネサス エレクトロニクス株式会社

レンゴー株式会社

株式会社ローソン

ローム株式会社

YKK AP 株式会社

YKK 株式会社

7. 応募団体一覧

環境活動レポート部門

海部地区環境事務組合 株式会社神戸ポートリサイクル

学校法人有馬学園 認定こども園 高津幼稚園 光洋電器工業株式会社 泉スクラップ株式会社 学校法人郡山開成学園

一宮生活協同組合 広友ホールディングス株式会社

株式会社一不二総業 小林工業株式会社 コンテック株式会社 コンテック株式会社 はまる社 コンテック株式会社

上島珈琲貿易株式会社 株式会社こんの 株式会社宇部セントラルコンサルタント 株式会社酒井商会 株式会社エスティービー 有限会社坂井商店 株式会社エステック 株式会社エステック 1 有限会社山栄電子

MHPS エンジニアリング株式会社 株式会社サンキョウーエンビックス

大鐘測量設計株式会社 山興緑化有限会社 学校法人大阪学芸 山陽製紙株式会社

大阪信用金庫 株式会社 GE

社会福祉法人恩賜財団済生会支部大阪府済生会吹田病院 JFE プラリソース株式会社 オオサワ株式会社 滋賀シミズ精工株式会社 株式会社 KAITO 清水長金属工業株式会社

笠原工業株式会社 株式会社シュガーアンドスパイス

公益財団法人かしわざき振興財団 白鷺電気工業株式会社

葛城工業株式会社新日本カレンダー株式会社(三田工場及び配送センター)株式会社亀井組新日本カレンダー株式会社(本社、東京支店、名古

株式会社河原工房 屋支店、九州支店、丸亀工場)

株式会社環境計画研究所 株式会社親和テクノ

特定非営利活動法人環境ネットやまがたがは、ボルンディアサポート株式会社

株式会社カンサイ 静清信用金庫

株式会社キャステム 関野建材工業株式会社 株式会社九州構造設計 株式会社セリタ建設 九州林産株式会社 センテック株式会社

医療法人玉昌会 株式会社ソルテック工業

 共和アスコン株式会社
 太陽油脂株式会社

 株式会社国見開発工業
 株式会社ダイセイ

クリーンセンター花泉有限会社 大東スチール株式会社 株式会社 KDP 高野産業株式会社

株式会社高勝の家 株式会社ヒノックス 株式会社タズミ 平賀建設株式会社

株式会社 DINS 堺 廣間組有限会社

電算印刷株式会社 株式会社フィデア情報システムズ

株式会社銅豊製作所 株式会社フェローテックセラミックス 石川工場

東邦化成株式会社福井環境事業株式会社

東北警備保障株式会社 株式会社フジヤマ

東洋冷蔵株式会社 北陽建設株式会社

公益社団法人徳島県環境技術センター 株式会社北陽商会

トヨタカローラ名古屋株式会社 株式会社松村合金ダイス研究所

株式会社トヨタレンタリース熊本マテック株式会社

株式会社中西株式会社マルイ

中ノ郷信用組合 丸善土木株式会社

中山化成有限会社マルフク産業株式会社

鍋林建工株式会社 丸和熱処理株式会社

国立大学法人鳴門教育大学マロニー株式会社

南信環境管理センター株式会社 株式会社みすずコーポレーション

西岡化建株式会社 株式会社ミツバ環境分析リサーチ

株式会社日誠産業 南日本興業株式会社

株式会社仁張工作所 株式会社みやま

沼津中央自動車株式会社 株式会社森田スプリング製作所

梅南鋼材株式会社 株式会社弥生石油店

はごろもフーズ株式会社
ユーレックス株式会社

株式会社林自動車工業株式会社ユニット包材

阪神高速道路株式会社 来ハトメ工業株式会社

-MEMO-

 	 .
	
 	 -

-MEMO-

 	 -
	
 	 -

-MEMO-

 	 -
	
 	 -









第20回 環境コミュニケーション大賞事務局

株式会社ダイナックス都市環境研究所

〒105-0003 東京都港区西新橋2-11-5 TKK西新橋ビル3階

TEL:03-3580-8221 FAX:03-3580-8265